

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について

1. 目的

現行の第三次地域情報化計画の期間終了を平成29年度末に控え、本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期地域情報化計画の策定に活用するため、市民意識調査を行う。

2. 調査対象者

16歳以上80歳未満の鹿児島市民を対象に総数3,500名を抽出。
抽出は、住民基本台帳により平成28年4月現在の年齢階層別、男女別、地域別人口構成に応じ無作為に抽出。

3. 調査方法

調査票の郵送配付、郵送・電子申請での回収による無記名のアンケート調査

4. 調査期間

平成28年8月1日～8月26日

5. 有効回答数

1,664件 (47.5%)

6. 概要 (Pは、【参考資料①】中間報告書(案)のページ数)

(1) 情報通信機器の保有状況(世帯)(P7)

情報通信機器	23年度調査	28年度調査	増減	全国 27年度調査
パソコン	56.0%	60.7%	4.7	76.8%
スマートフォン型の携帯電話	13.2%	60.0%	46.8	72.0%
携帯電話(スマートフォン除く)	79.0%	52.1%	△26.9	63.6%
タブレット型端末	4.3%	27.8%	23.5	33.3%

※23年度調査では「携帯電話」「PHS」が分かれていたため、表の値は合算値で表示

(2) 自宅でのインターネット接続回線(P8,9)

接続回線	23年度調査	28年度調査	増減	全国 27年度調査
携帯電話回線	5.1%	50.0%	44.9	51.9%
光回線	57.0%	46.8%	△10.2	58.7%
DSL回線(ADSLなど)	10.0%	5.8%	△4.2	6.5%
ケーブルテレビ回線	2.4%	3.7%	1.3	18.9%

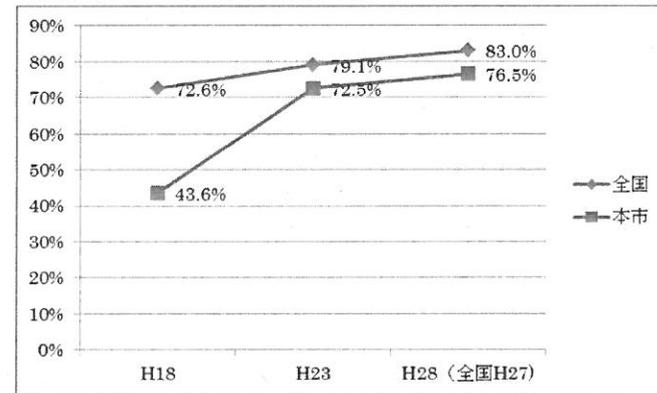
※28年度調査の「携帯電話回線」は、「サービス名に「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの(35.7%)と「サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの(14.3%)の合算値

※23年度調査は、自宅のパソコンを使ってインターネット接続する世帯のうち、パソコンを使って接続する回線

※全国の調査は、自宅のパソコン等からインターネットを利用する世帯に占める割合

(3) インターネット利用率(個人)(P12,13)

前回23年度と比較して、本市の個人利用率は、72.5%から76.5%と増加しているが、全国平均と比較して6.5ポイント下回っている。



(4) その他主な質問についての回答状況

質問内容	回答が多い項目
1 小中学生の子ども専用のタブレット型端末等保有に対する不安(P11)	少し不安を感じる(41.5%)
	不安を感じる(26.8%)
	あまり不安を感じない(9.8%)
2 インターネットを利用するサービス(P16,17)	天気予報の利用(65.3%)
	電子メールの受信(61.4%)
	ニュースサイトの利用(55.0%)
3 インターネット利用での不安等(P20)	個人情報の保護に不安がある(53.7%)
	ウィルスの感染が心配である(52.7%)
	迷惑メールが来ること(38.2%)
4 SNSの利用(P24)	LINE(47.8%)
	Facebook(20.2%)
	Twitter(11.7%)
5 情報化の利用状況(P27)	市のホームページ(31.8%)
	鹿児島市総合案内コールセンター(サンサンコールかごしま)(19.7%)
	市立図書館ホームページ等の蔵書検索、予約、利用確認等のサービス(8.0%)
6 情報通信技術を活用すべき施策(P29)	健康・医療の充実(33.1%)
	高齢化対策の推進(30.0%)
	子育て環境の充実(22.5%)
7 公共施設での無料WiFiサービス(P31)	観光施設(31.1%)
	避難所(17.4%)
	公共交通機関(15.0%)
8 情報化に対する不満や不安(P32)	個人情報情報が漏えいしプライバシーが侵される(59.0%)
	ネットワーク犯罪が増加する(50.0%)
	パソコンなどを利用できる人とできない人との間に格差が生じる(44.2%)

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査報告書（案）
（中間報告）

平成28年10月

鹿児島市情報システム課

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	3
1. 回答者の基本属性	3
(1) 性別構成	3
(2) 年齢別構成	3
(3) 職業別構成	4
(4) 地域別構成	4
2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況	5
(1) 世帯でのインターネット利用率	5
(2) 情報通信機器の保有率	7
(3) 自宅でのインターネット接続回線	8
(4) 小中学生の子ども専用のタブレット型端末の保有状況	10
3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況	12
(1) 個人でのインターネット利用率	12
(2) インターネットの利用機器	14
(3) インターネットの利用頻度	15
(4) インターネットを利用するサービス	16
(5) インターネットの利用意向	18
(6) インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由	20
(7) 携帯電話（PHSを含む）又はスマートフォンで利用した機能・サービス	23
(8) 利用したSNS	24
(9) SNSを利用する頻度	24
4. 鹿児島市が発信する行政情報の提供方法	25
(1) 行政情報の入手方法	25
(2) 必要としているまたは関心のある行政情報	26
5. 鹿児島市が行う情報化施策への取組	27
(1) 情報化施策の利用状況	27
(2) 情報化施策の効果の状況	28
(3) 情報化による市民サービスの利用意向	29
(4) 公共施設での無料Wi-Fiサービス	31
(5) 情報化に対する不満や不安	32
(6) 情報化施策に対しての自由意見	35
III. 参考資料 自由意見	36
III. 資料 調査票	51

I. 調査の概要

■ 調査目的

現行の第三次地域情報化計画の期間終了を平成29年度末に控え、本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期地域情報化計画の策定に活用するため、市民意識調査を行うもので、第四次地域情報化計画の基礎資料とするものである。

■ 調査対象者

16歳以上80歳未満の鹿児島市民

■ 対象者抽出方法

住民基本台帳から年齢階層別・性別により無作為抽出

	男	女	合計
10代	90人	91人	181人
20代	211人	245人	456人
30代	275人	304人	579人
40代	291人	320人	611人
50代	268人	307人	575人
60代	320人	348人	668人
70代	191人	239人	430人
合計	1,646人	1,854人	3,500人

■ 調査方法

郵送配付、郵送又は「鹿児島県電子申請共同運営システム」による回収

■ 調査期間

平成28年8月1日(月)～平成28年8月26日(金)

■ 有効回答数

1,664件(回答率47.5%)

■ 調査結果の留意事項

- ・ 図表中の N は回答者全員、n は限定された回答者の数（母数）であり、回答率（％）の分母である。
- ・ 回答率は百分比の小数以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100％にならない場合がある。
- ・ 2 つ以上の回答を要する（複数回答）設問の場合、その回答比率の合計は原則として 100％を超える。
- ・ 複数の回答率の総和は、回答者の実数の総和から算出した数値を端数処理しているため、図表中の回答率の総和とは一致しない場合がある。
- ・ 設問によっては、総務省が実施した平成 27 年通信利用動向調査（以下「全国」という。）の結果と比較、分析を行った。
- ・ 設問によっては、本市が実施した平成 18 年度調査（以下「前々回調査」という。）及び平成 23 年度調査（以下「前回調査」という。）の結果と比較、分析を行った。

	前々回調査	前回調査
実施時期	平成 18 年 9 月	平成 23 年 8 月
調査対象者	20 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民	16 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民
調査方法	郵送配付、郵送回収	郵送配付、郵送回収 （高校生を除く） 学校による直接配布、直接回収 （高校生）
調査対象者数	3,000 人	3,200 人
回答数	1,503 件	1,584 件
回答率	50.1％	49.5％

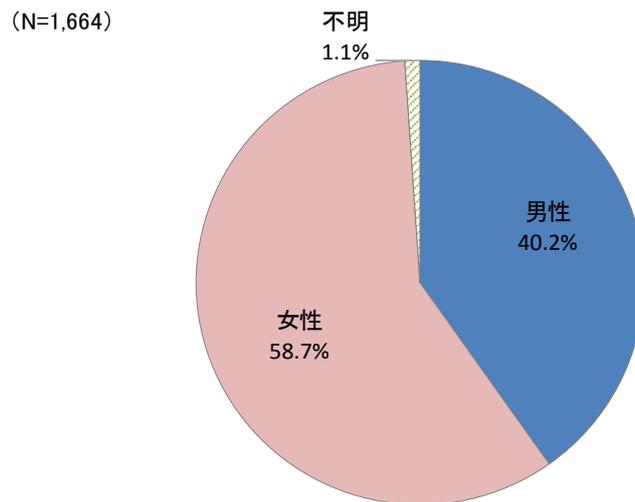
Ⅱ. 調査結果

1. 回答者の基本属性

(1) 性別構成

性別については「男性」が40.2%、「女性」が58.7%となっている。

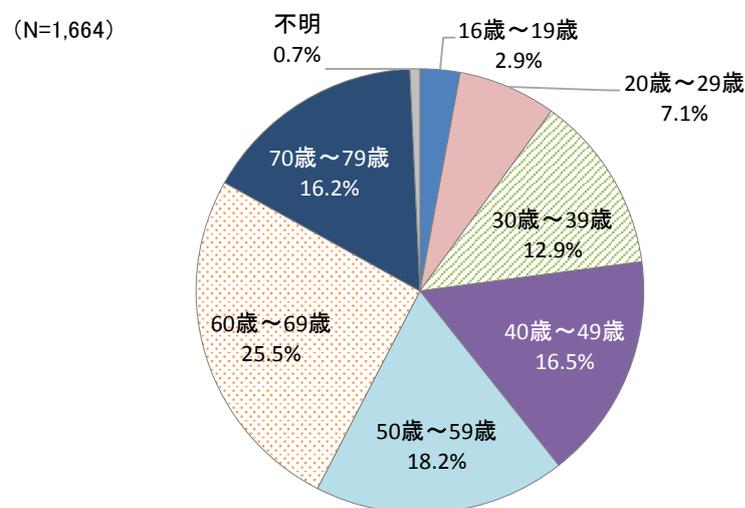
図表 1-1 性別構成



(2) 年齢別構成

年齢については、「60歳～69歳」が25.5%で最も多く、次いで「50歳～59歳」が18.2%、「40歳～49歳」が16.5%となっている。

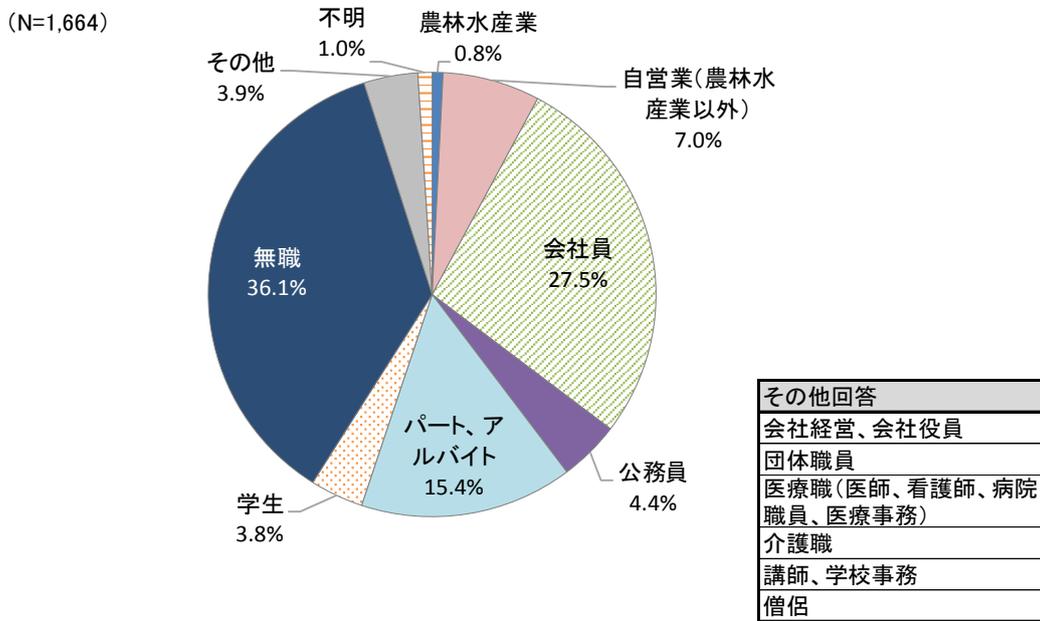
図表 1-1 年齢別構成



(3) 職業別構成

職業については、「無職」が36.1%で最も多く、次いで「会社員」が27.5%、「パート、アルバイト」が15.4%となっている。

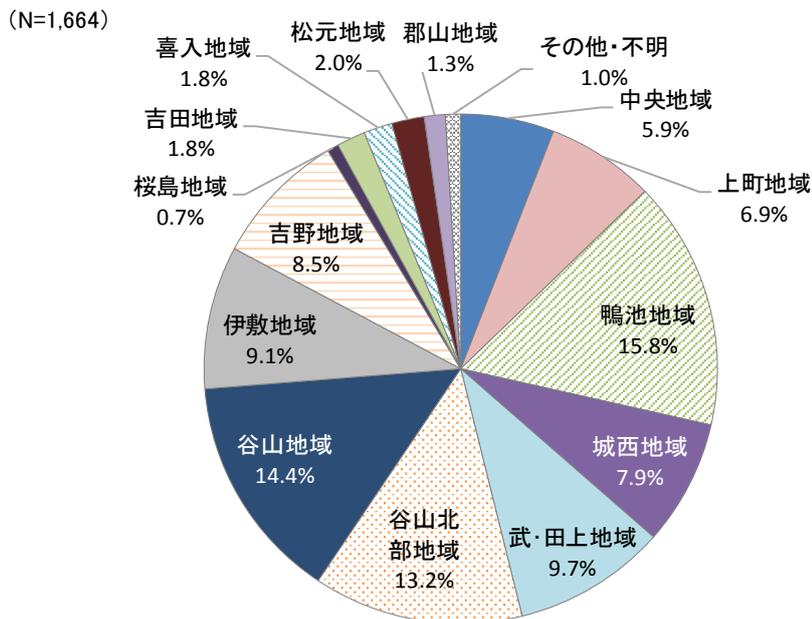
図表 1-3 職業別構成



(4) 地域別構成

居住地については、「鴨池地域」が15.8%と最も多く、次いで「谷山地域」が14.4%、「谷山北部地域」が13.2%となっている。

図表 1-4 地域別構成



2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況

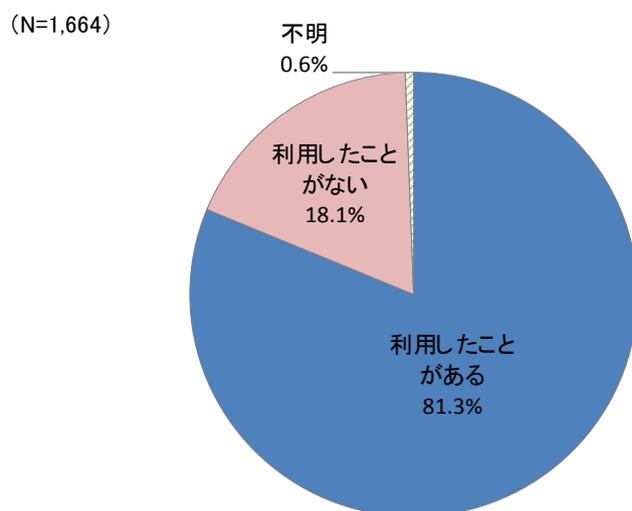
(1) 世帯でのインターネット利用率

問1. あなたの世帯では、ご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

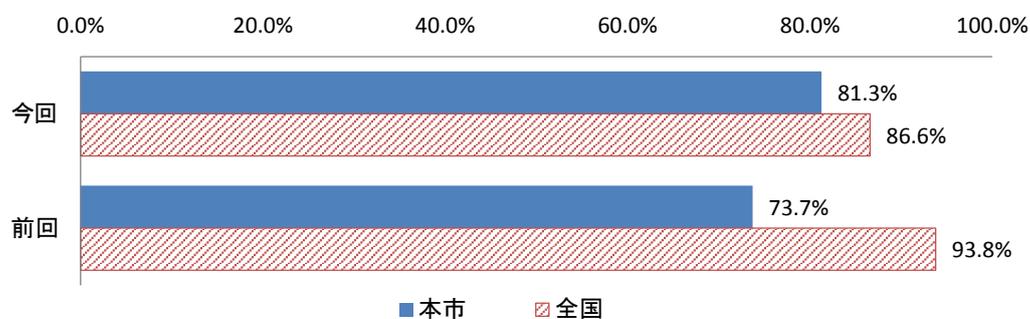
世帯でのインターネット利用については、「利用したことがある」が81.3%、「利用したことがない」が18.1%となっている。（図表 2-1 参照）

インターネットを利用している世帯を前回と比較すると、7.6ポイント増加している。前回は全国平均と比較して、20.1ポイントと大きく下回っていたが、今回は5.3ポイント下回っているものの、インターネットを利用する機会が多くなったことが伺える。（図表 2-2 参照）

図表 2-1 インターネット利用率

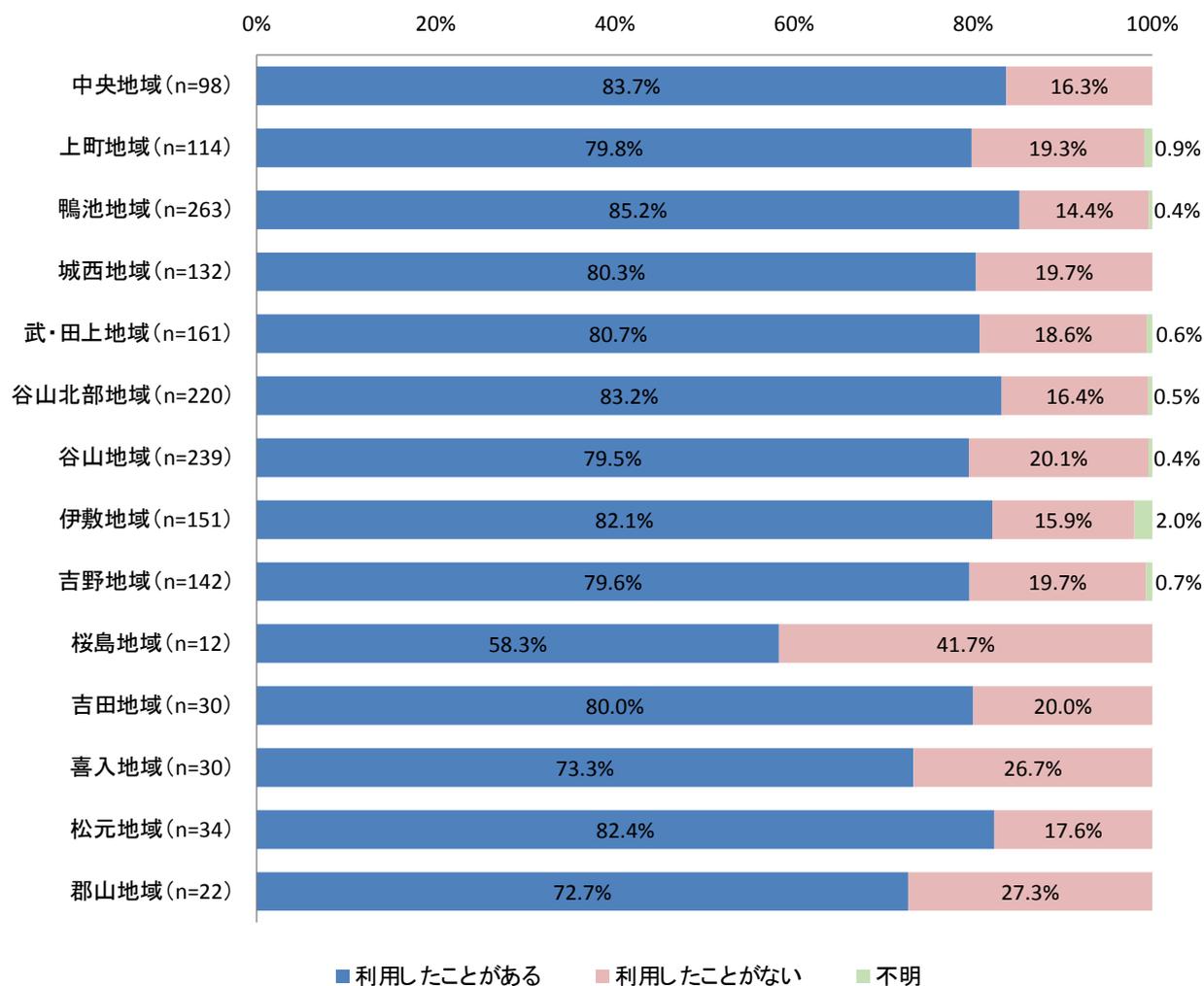


図表 2-2 インターネットを利用している世帯の状況



地域別にみると、ほとんどの地域で「利用したことがある」が約8割以上となっているが、「桜島地域」においては6割を下回っている。(図表 2-3 参照)

図表 2-3 地域別のインターネットを利用している世帯の状況



(2) 情報通信機器の保有率

問2 (1). あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。(ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。) <複数回答>

家庭における情報通信機器の保有率については、「自宅のパソコン(タブレット型端末は除く)」が60.7%と最も多く、次いで「iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話」が60.0%、「携帯電話(PHSを含む)(スマートフォンは除く)」が52.1%となっている。なお「ウェアラブル端末(メガネ型・腕時計型情報端末等)」は今回初調査となっている。(図表2-4参照)

保有率の推移をみると、前回まで上位であった「携帯電話(PHSを含む)(スマートフォンは除く)」が26.9ポイントと大きく減少した一方、前回から調査項目に加わった「スマートフォン型の携帯電話」が46.8ポイントと大きく増加している。また、「タブレット型端末」も23.5ポイントと大きく増加しており、「スマートフォン型の携帯電話」、「タブレット型端末」の急速な普及が伺える結果となっている。(図表2-5参照)

図表 2-4 情報通信機器の保有率

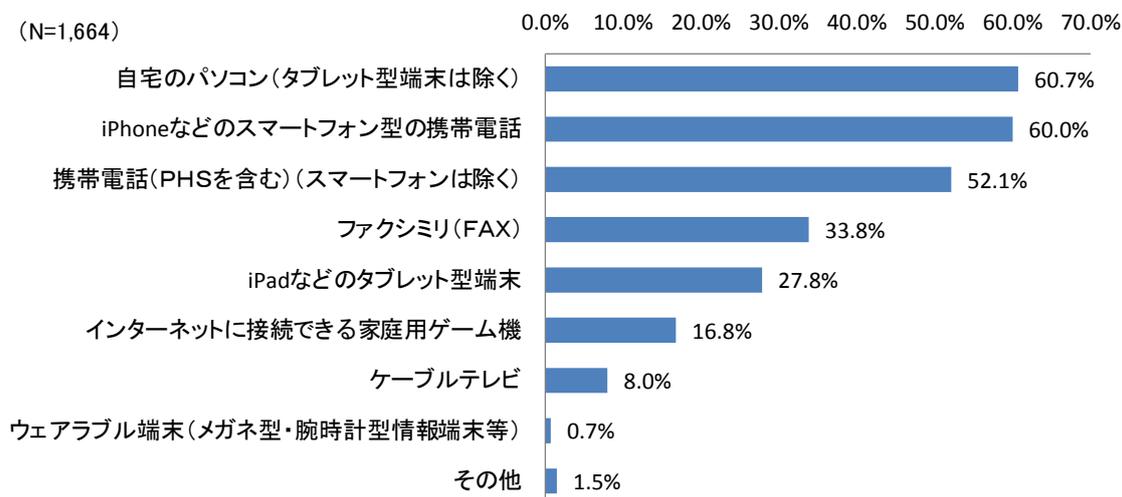
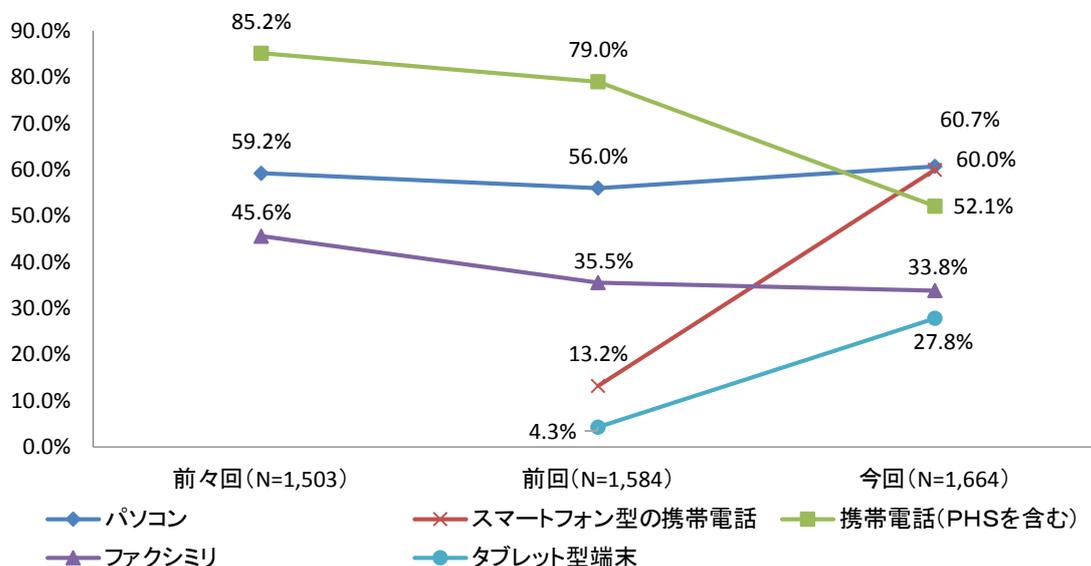


表 2-5 情報通信機器の保有率の推移



※比較上の注意点

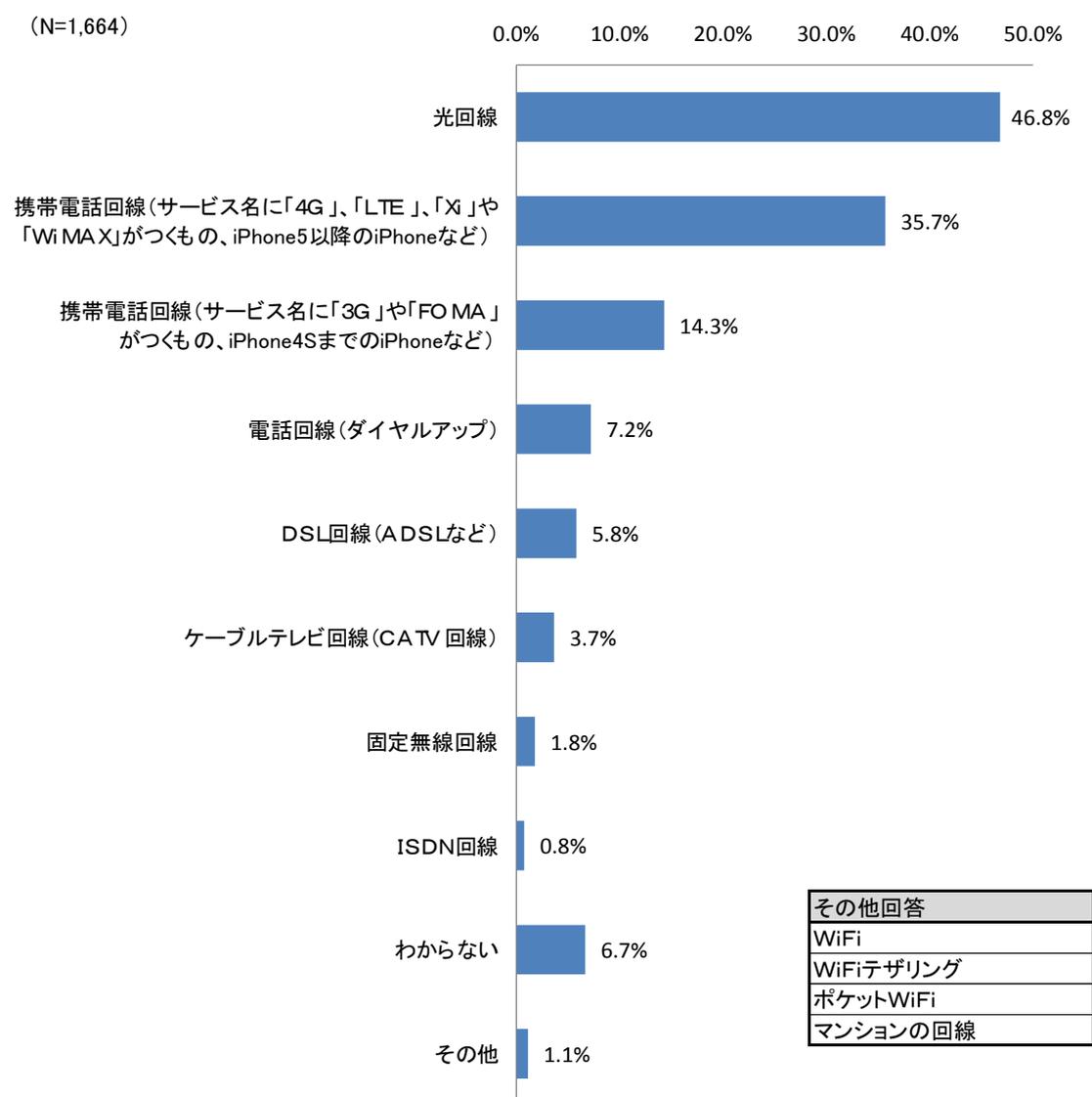
・前回調査では「携帯電話」「PHS」が分かれていたため、値は合算値で表示 (図表2-5)

(3) 自宅でのインターネット接続回線

問2(2).「自宅」でインターネットを利用している場合、どのような回線で利用していますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

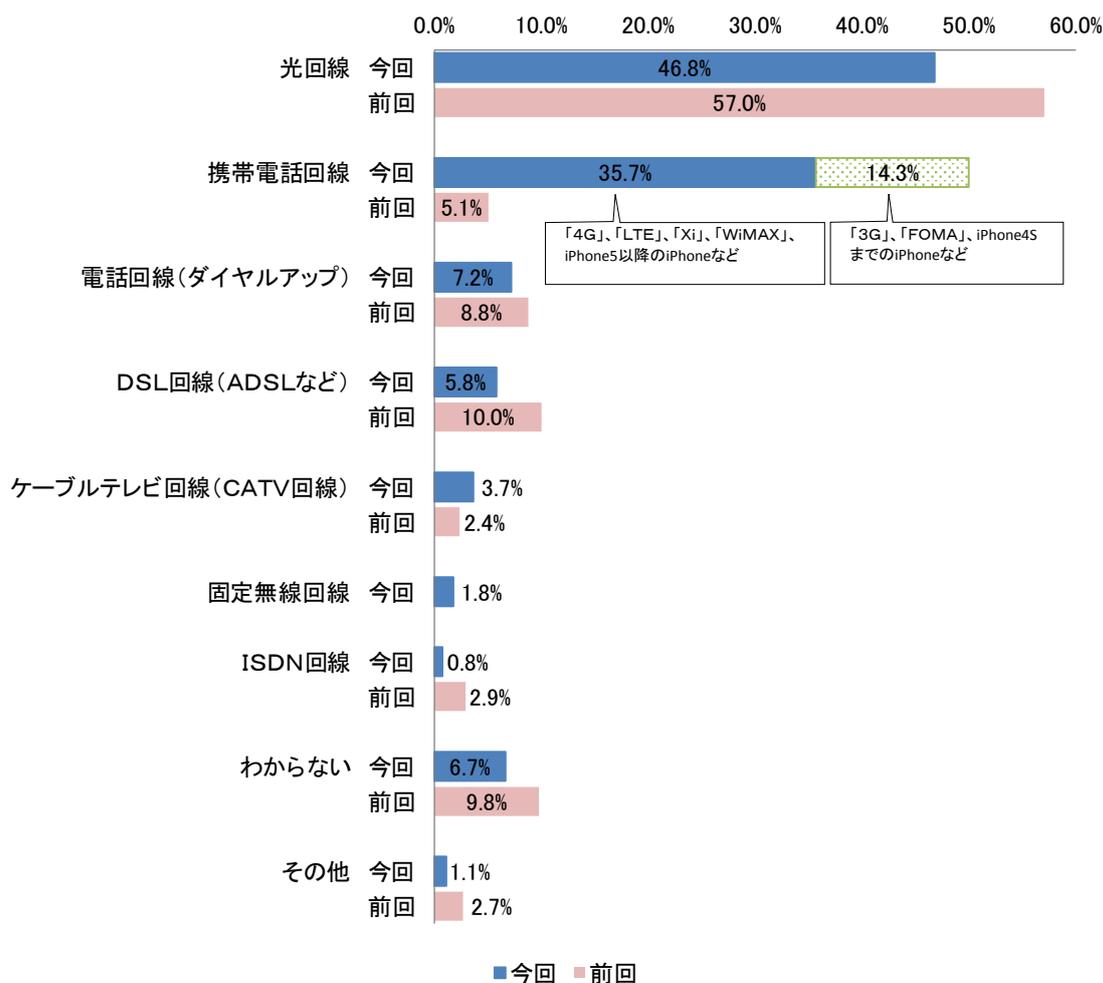
自宅でのインターネット接続回線については、「光回線」が46.8%と最も多く、次いで「携帯電話回線（サービス名に「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5以降のiPhoneなど）」が35.7%、「携帯電話回線（サービス名に「3G」や「FOMA」がつくもの、iPhone4SまでのiPhoneなど）」が14.3%となっている。（図表2-6参照）

図表2-6 自宅でのインターネット接続回線



前回と比較すると、「携帯電話回線」が 44.9 ポイントと大きく増加し、最も回答の多かった「光回線」は 10.2 ポイント減少している。これは、スマートフォン等の急速な普及により、「携帯電話回線「4G」、「LTE」、「Xi」や「WiMAX」がつくもの、iPhone5 以降の iPhone など」の利用者が増えたことによるものと考えられる。(図表 2-7 参照)

図表 2-7 自宅でのインターネット接続回線の比較



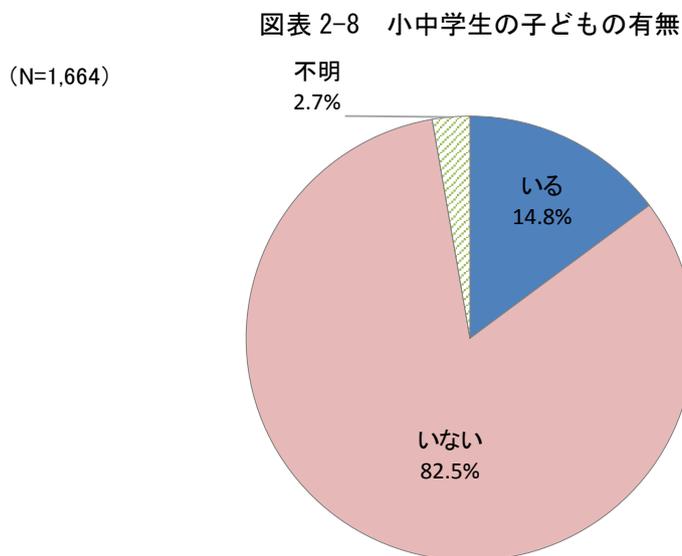
※比較上の注意点

- ・ 前回調査：自宅でのパソコンによるインターネット接続回線が対象
- ・ 今回調査：自宅でのインターネット接続回線が対象

(4) 小中学生の子ども専用のタブレット型端末等の保有状況

問3 (1). あなたの世帯には、小中学生の子どもがいますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

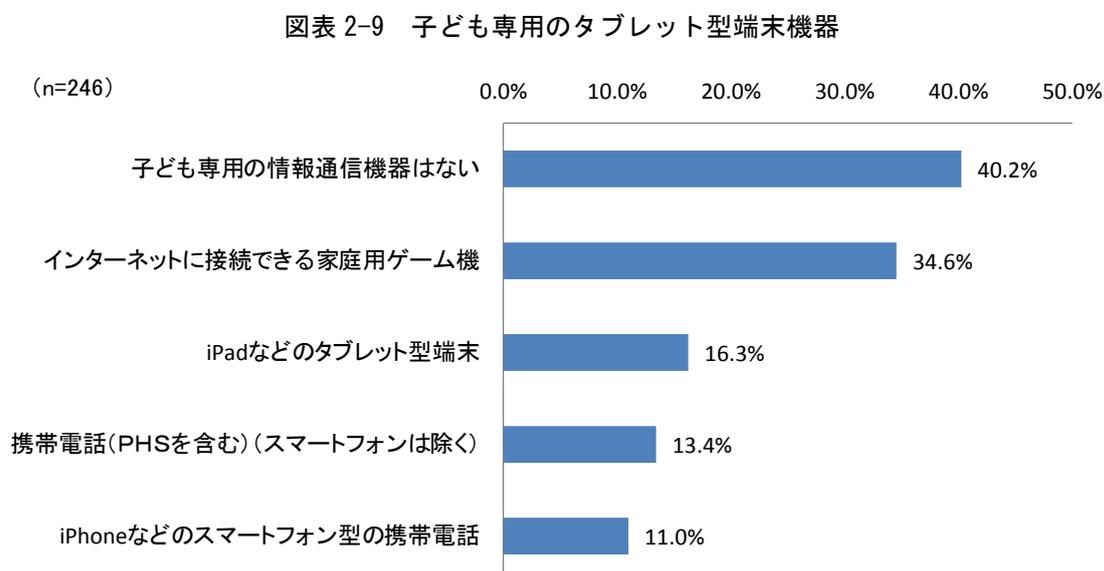
小中学生の子どもについては、「いる」が14.8%、「いない」が82.5%となっている。(図表2-8参照)



問3 (2). 問3 (1)で「1. いる」を選んだ方におたずねします。

あなたの世帯には、小中学生の子ども専用のタブレット型端末等がありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

子ども専用のタブレット型端末等があるかについては、「子ども専用の情報通信機器はない」が40.2%と最も多く、次いで「インターネットに接続できる家庭用ゲーム機」が34.6%、「iPadなどのタブレット型端末」が16.3%となっている。小中学生の子どもについては、「携帯電話」に比べ「ゲーム機」の占める割合が多くなっている。(図表2-9参照)



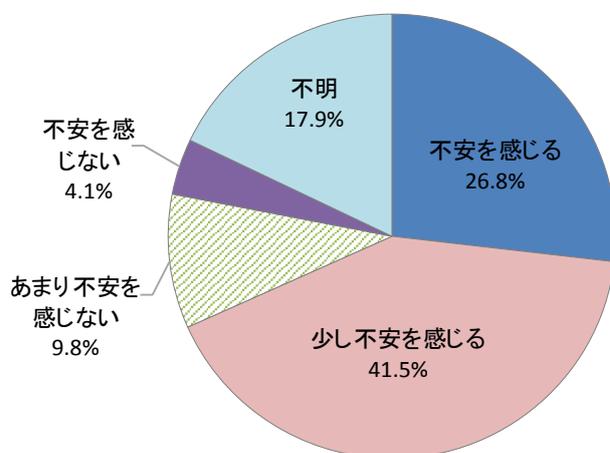
問3 (3). 問3 (1) で「1. いる」を選んだ方におたずねします。

小中学生の子どもが専用のタブレット型端末、携帯電話、スマートフォン、インターネットに接続できる家庭用ゲーム機を保有することに対して、不安を感じますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

子どもが専用のタブレット型端末等を保有することに不安を感じるかについては、「少し不安を感じる」が41.5%と最も多く、次いで「不安を感じる」が26.8%、「あまり不安を感じない」が9.8%となっている。「不安を感じる」「少し不安を感じる」の割合は約7割を占めており、機器を保有することを多くの親が不安に感じている。(図表 2-10 参照)

図表 2-10 子ども専用のタブレット型端末機器保有に対する不安

(n=246)



3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況

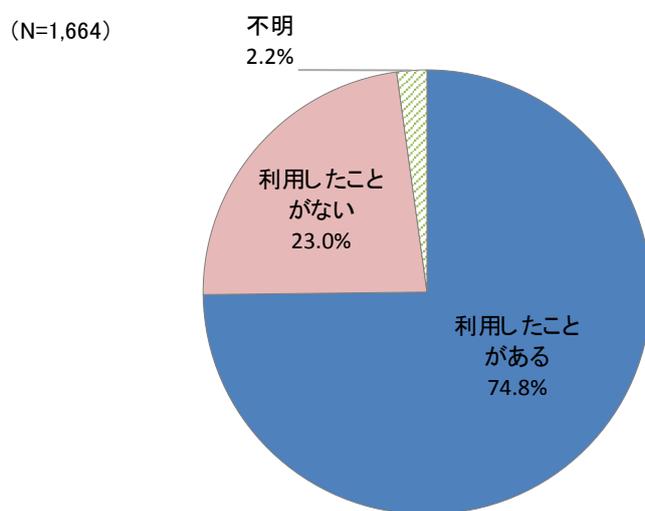
(1) 個人でのインターネット利用率

問4. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

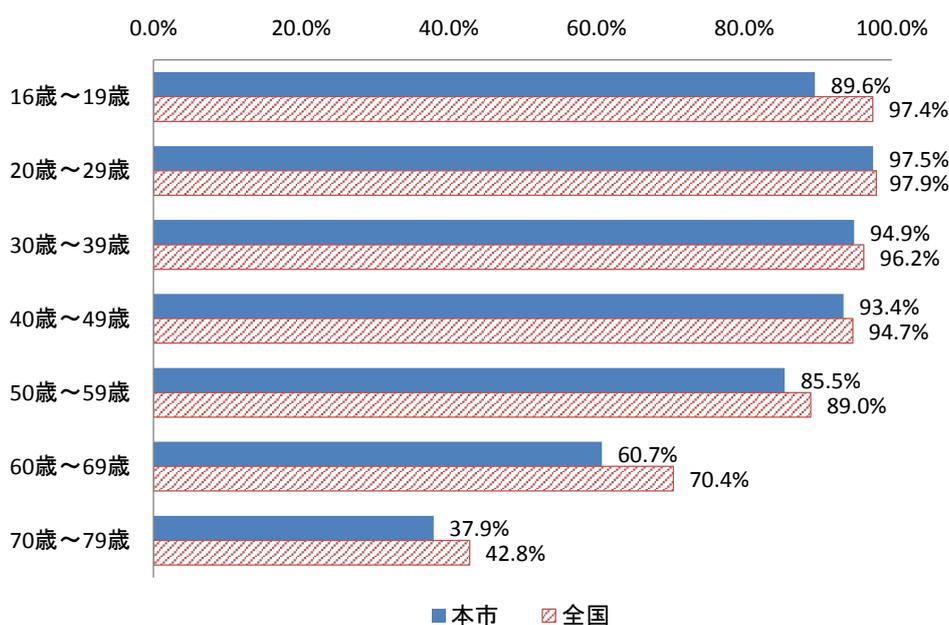
過去1年間のインターネットの利用状況については、「利用したことがある」が74.8%、「利用したことがない」が23.0%となっている。（図表3-1 参照）

年齢階層別に全国平均と比較すると、全ての年代において全国平均を下回っており、60代においては9.7ポイント下回っている。（図表3-2 参照）

図表 3-1 インターネットの利用状況



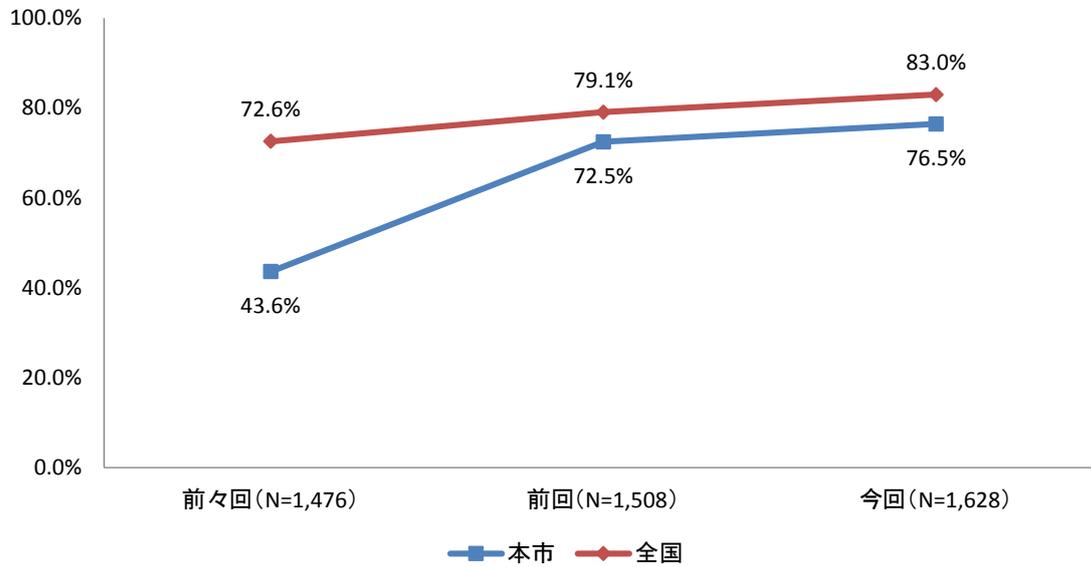
図表 3-2 年齢階層別のインターネット利用率（本調査と全国平均との比較）



インターネットの利用状況については、前回と比較して 4.0 ポイント増加している。前回は前々回に比べ 28.9 ポイントと大きく増加したが、今回は微増となっている。

また、全国平均と比較すると、6.5 ポイント下回っている。(図表 3-3 参照)

図表 3-3 インターネット利用率の推移 (本調査と全国平均との比較)



※比較上の注意点

全国値が無回答を除く値を用いているため、本市の値も無回答を除いている。(図表 3-3)

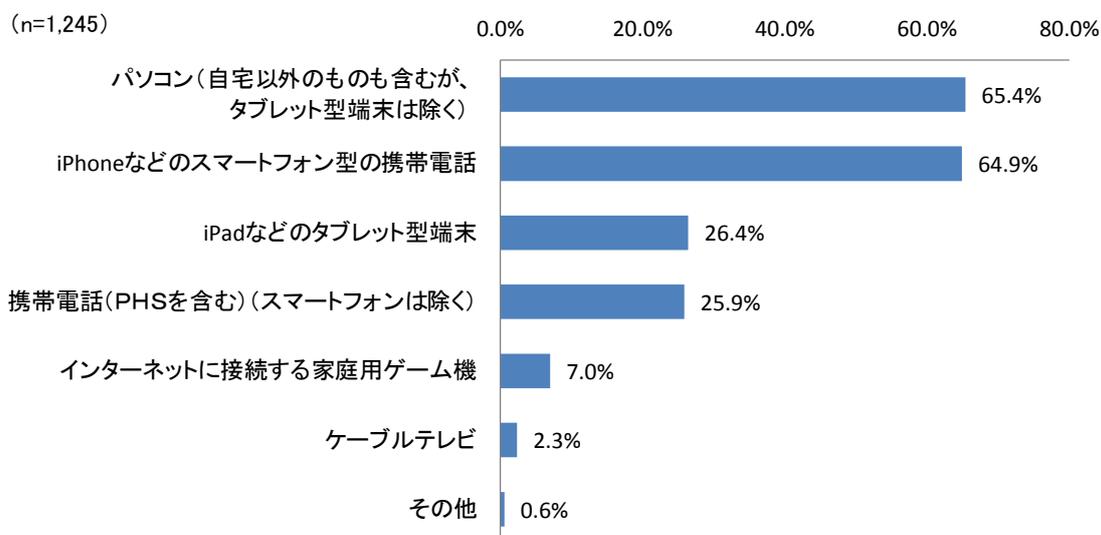
(2) インターネットの利用機器

問5. 問4で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

インターネットで利用した機器については、「パソコン（自宅以外のものも含むが、タブレット型端末は除く）」が65.4%と最も多く、次いで「iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話」が64.9%、「iPadなどのタブレット型端末」が26.4%、「携帯電話（PHSを含む）（スマートフォンは除く）」が25.9%となっている。（図表3-4参照）

図表 3-4 インターネットの利用機器

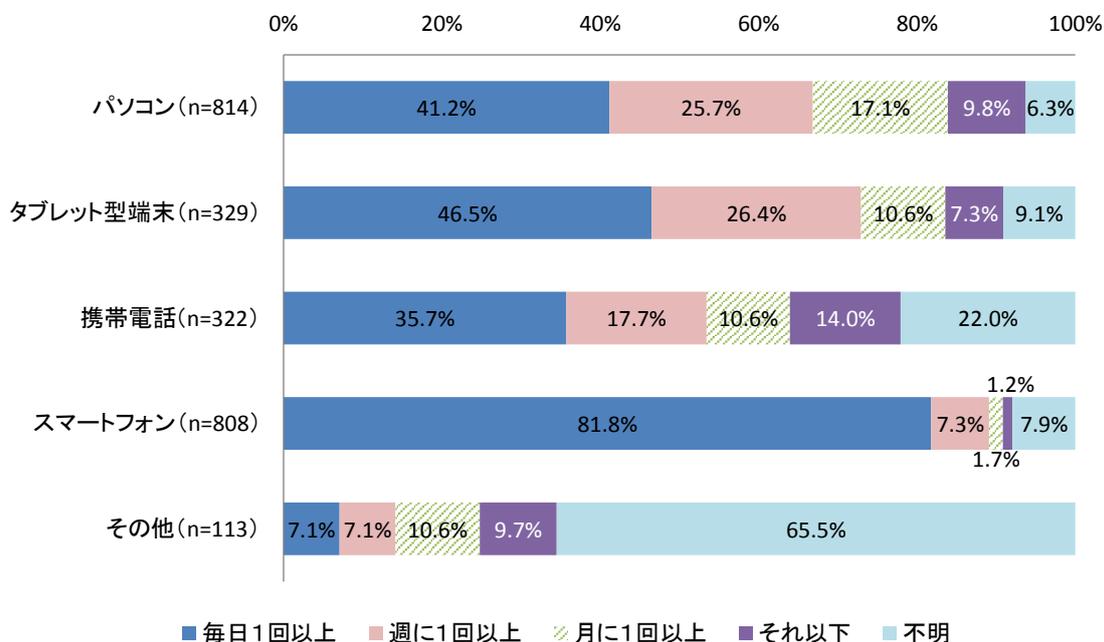


(3) インターネットの利用頻度

問5 (2). インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。利用したことのある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

利用機器別のインターネット利用頻度については、「毎日1回以上」と回答した人は、「スマートフォン」で81.8%となっており、他に比べて大きな割合を占めている。「週に1回以上」の回答者を加えると、約9割が週に1回以上の頻度で利用している状況が伺える。「パソコン」、「タブレット型端末」、「携帯電話」では「毎日1回以上」の回答者はそれぞれ5割を下回っている。(図表3-5参照)

図表 3-5 利用機器別のインターネット利用頻度



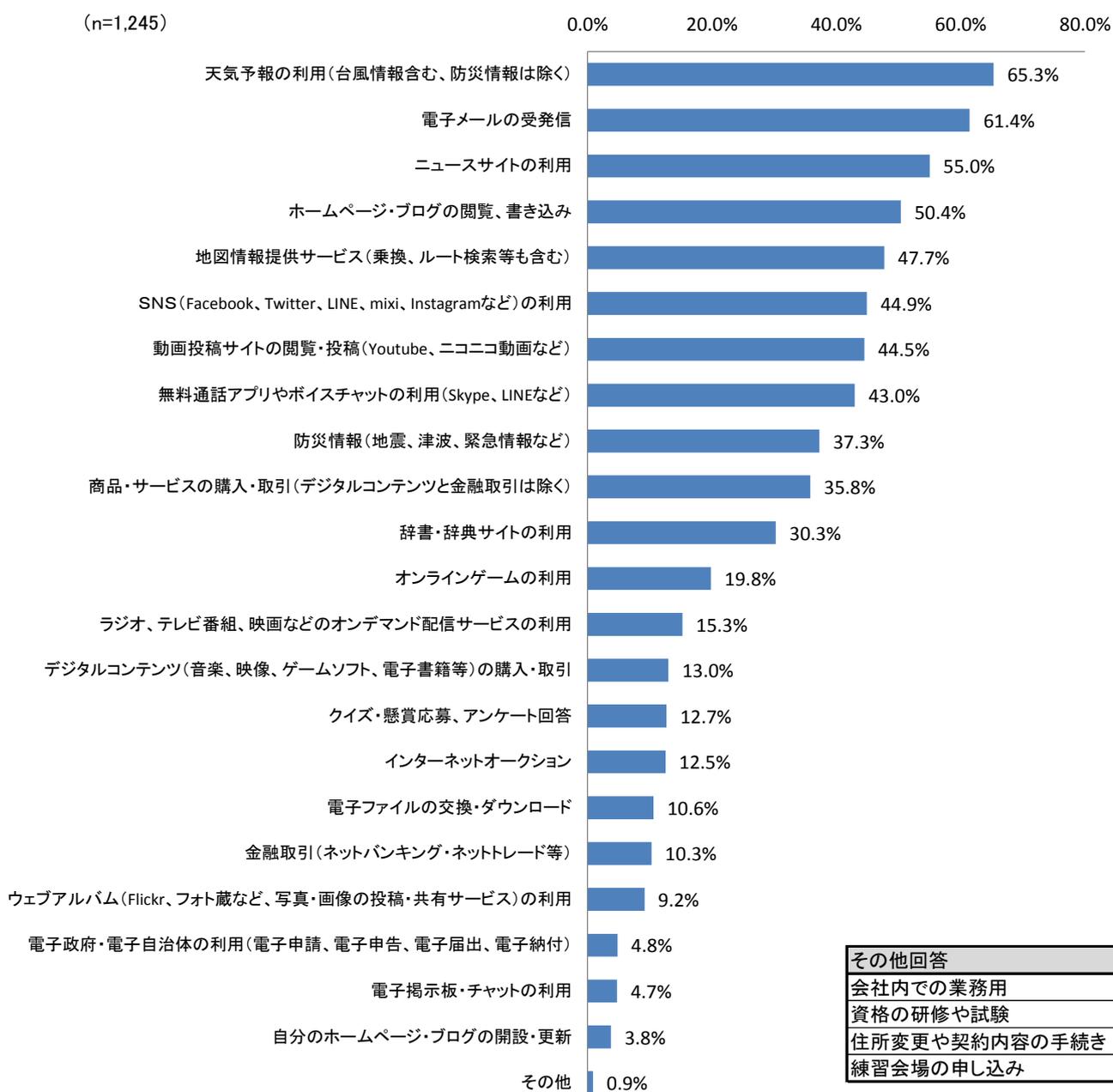
(4) インターネットで利用するサービス

問5 (3). どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

インターネットで利用するサービスについては、「天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）」が 65.3%と最も多く、次いで「電子メールの受発信」が 61.4%、「ニュースサイトの利用」が 55.0%となっている。（図表 3-6 参照）

年齢階層別にみると、10代では「動画投稿サイトの閲覧・投稿（Youtube、ニコニコ動画など）」、20代では「無料通話アプリやボイスチャットの利用（Skype、LINE など）」「SNS（Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram など）の利用」、30代・50代・60代・70代では「天気予報の利用（台風情報含む、防災情報は除く）」、40代では「電子メールの受発信」が最も多くなっている。（図表 3-7 参照）

図表 3-6 インターネットで利用するサービス



図表 3-7 年齢階層別のインターネットで利用するサービス

	1 位		2 位	
10 代	動画投稿サイトの閲覧・投稿 (Youtube、ニコニコ動画など)	79.1%	SNSの利用 (Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram など)	76.7%
20 代	無料通話アプリやボイスチャットの利用 (Skype、LINE など)	81.7%	動画投稿サイトの閲覧・投稿 (Youtube、ニコニコ動画など)	80.9%
	SNSの利用 (Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram など)	81.7%		
30 代	天気予報の利用 (台風情報含む、防災情報は除く)	70.1%	SNSの利用 (Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram など)	69.1%
40 代	電子メールの受発信	69.9%	天気予報の利用 (台風情報含む、防災情報は除く)	69.5%
50 代	天気予報の利用 (台風情報含む、防災情報は除く)	69.5%	電子メールの受発信	62.2%
60 代		60.5%		59.7%
70 代		51.0%		46.1%

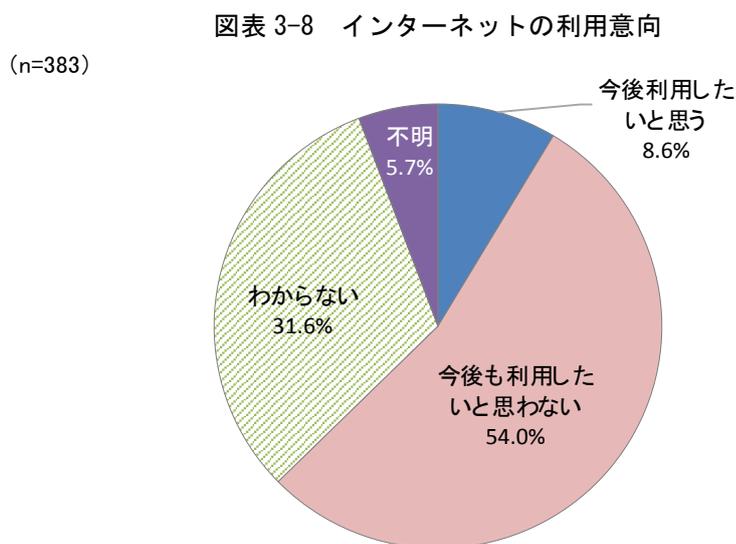
(5) インターネットの利用意向

問5 (4). 問4で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。

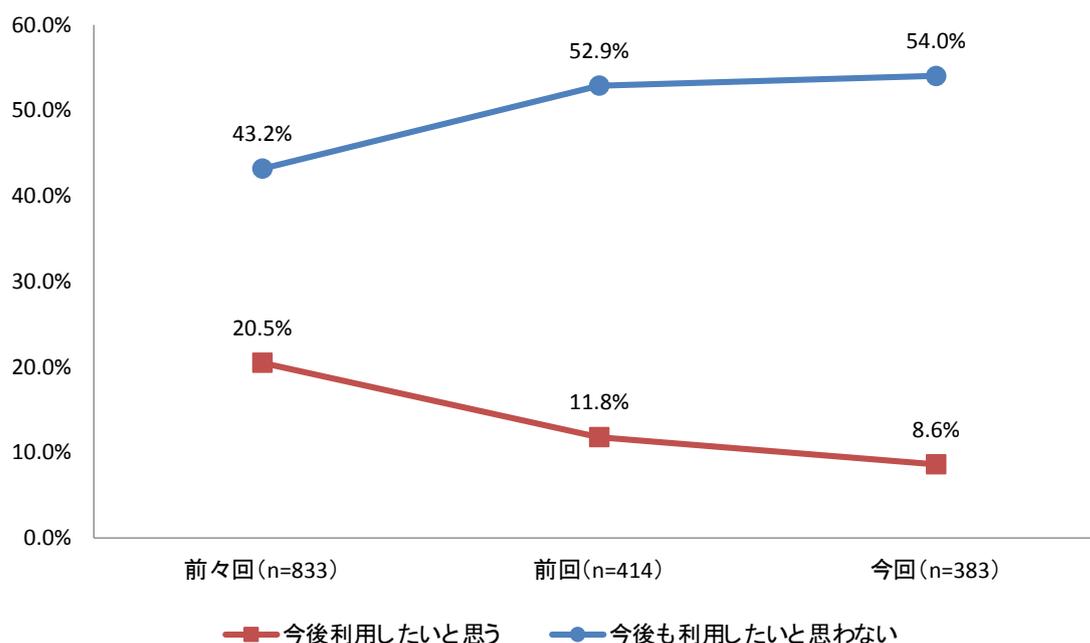
今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号 1 つに○印をつけてください。〈単一回答〉

今後インターネットを利用したいかについては、インターネット非利用者において、「今後利用したいと思う」が 8.6%、「今後も利用したいと思わない」が 54.0%で「今後利用したいと思う」を 45.4 ポイント上回った。

前回、前々回は「今後利用したいと思う」の割合は減少傾向、「今後も利用したいと思わない」の割合は増加傾向にあったが、今回は大きな差はみられない。(図表 3-8、3-9 参照)

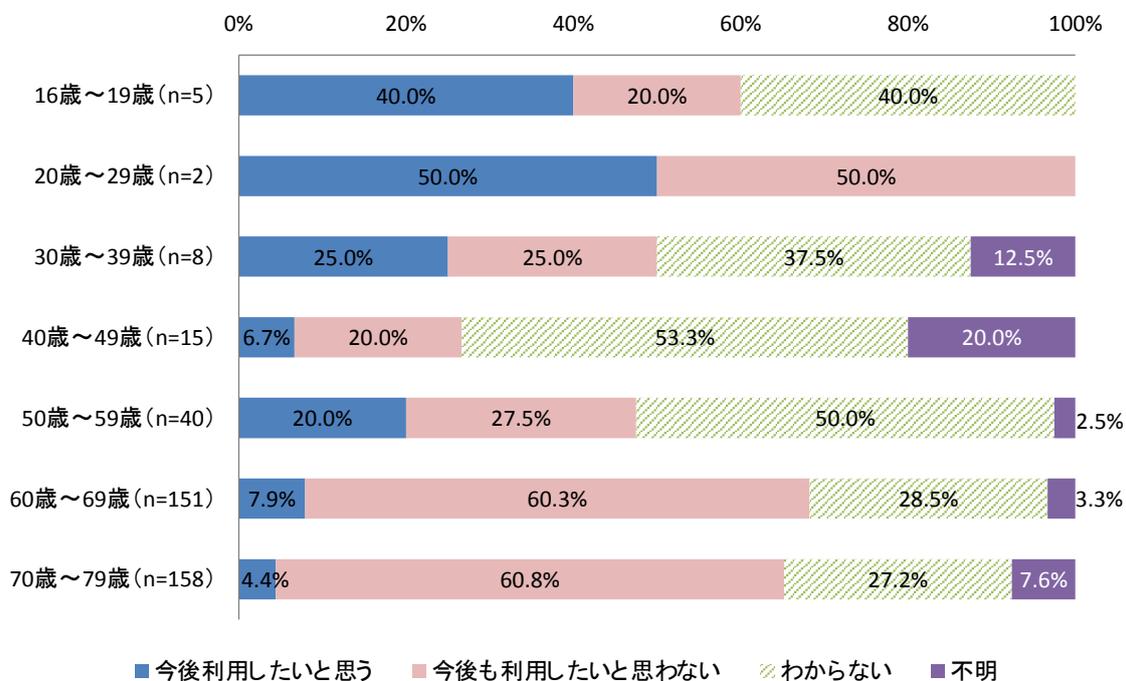


図表 3-9 インターネットの利用意向



年齢階層別にみると、60代、70代において「今後利用したいと思わない」の割合は、6割と
なっている。(図表 3-10 参照)

図表 3-10 年齢階層別のインターネットの利用意向



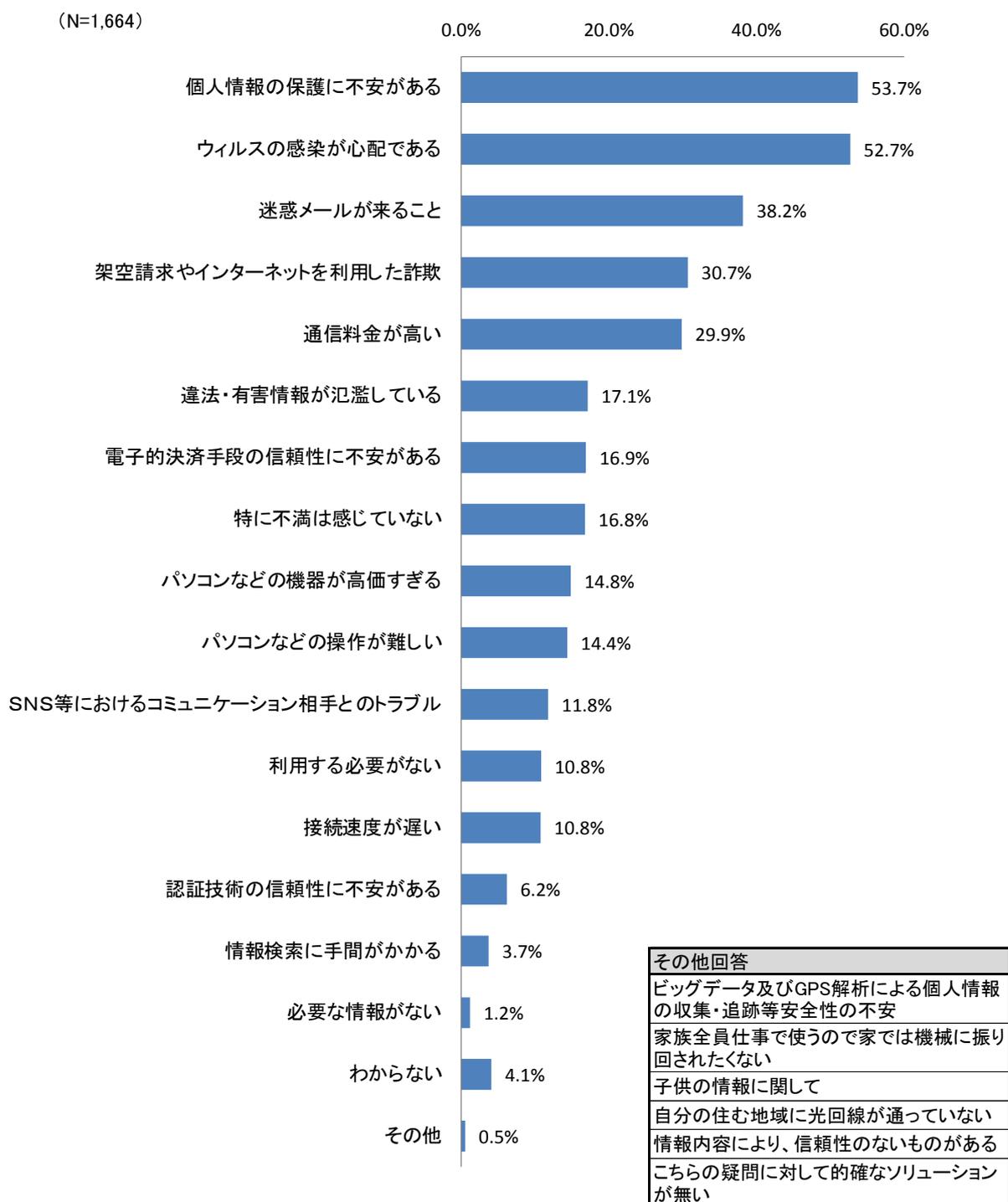
(6) インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

問6. すべての方におたずねします。

現在、インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

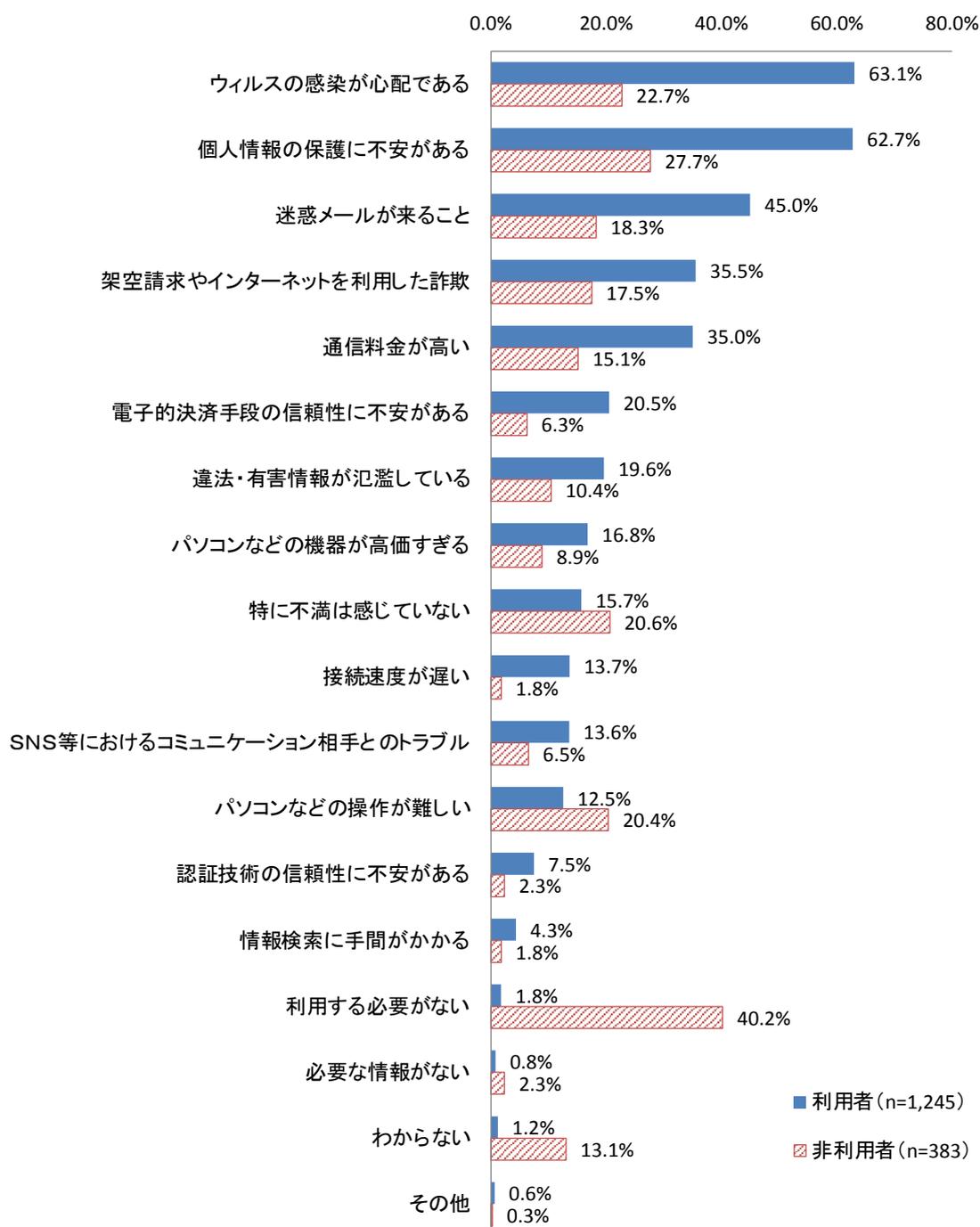
インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由については、「個人情報の保護に不安がある」が53.7%と最も多く、次いで「ウイルスの感染が心配である」が52.7%、「迷惑メールが来ること」が38.2%となっている。(図表 3-11 参照)

図表 3-11 インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由



インターネット利用者において、インターネットを利用して感じる不安や不満については、「ウィルスの感染が心配である」が 63.1%と最も多く、次いで「個人情報の保護に不安がある」が 62.7%、「迷惑メールが来ること」が 45.0%となっている。一方、インターネット非利用者において、インターネットを利用しない理由については、「利用する必要がない」が 40.2%と最も多く、次いで「個人情報の保護に不安がある」が 27.7%、「ウィルスの感染が心配である」が 22.7%となっている。(図表 3-12 参照)

図表 3-12 インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由の比較



年齢階層別にみると、70代では「利用する必要がない」が最も多くなっているが、各年代において、「個人情報の保護に不安がある」「ウィルスの感染が心配である」といった、情報セキュリティに関する不安や不満が上位を占めている。(図表 3-13 参照)

図表 3-13 年齢階層別のインターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

	1 位		2 位	
10 代	個人情報の保護に不安がある	58.3%	ウィルスの感染が心配である	52.1%
20 代		64.4%		62.7%
30 代	個人情報の保護に不安がある	67.9%	迷惑メールが来ること	51.2%
	ウィルスの感染が心配である	67.9%		
40 代	個人情報の保護に不安がある	61.7%		46.4%
	ウィルスの感染が心配である	61.7%		
50 代	ウィルスの感染が心配である	64.0%	個人情報の保護に不安がある	63.0%
60 代	個人情報の保護に不安がある	48.0%	ウィルスの感染が心配である	45.2%
70 代	利用する必要がない	33.1%	個人情報の保護に不安がある	27.9%

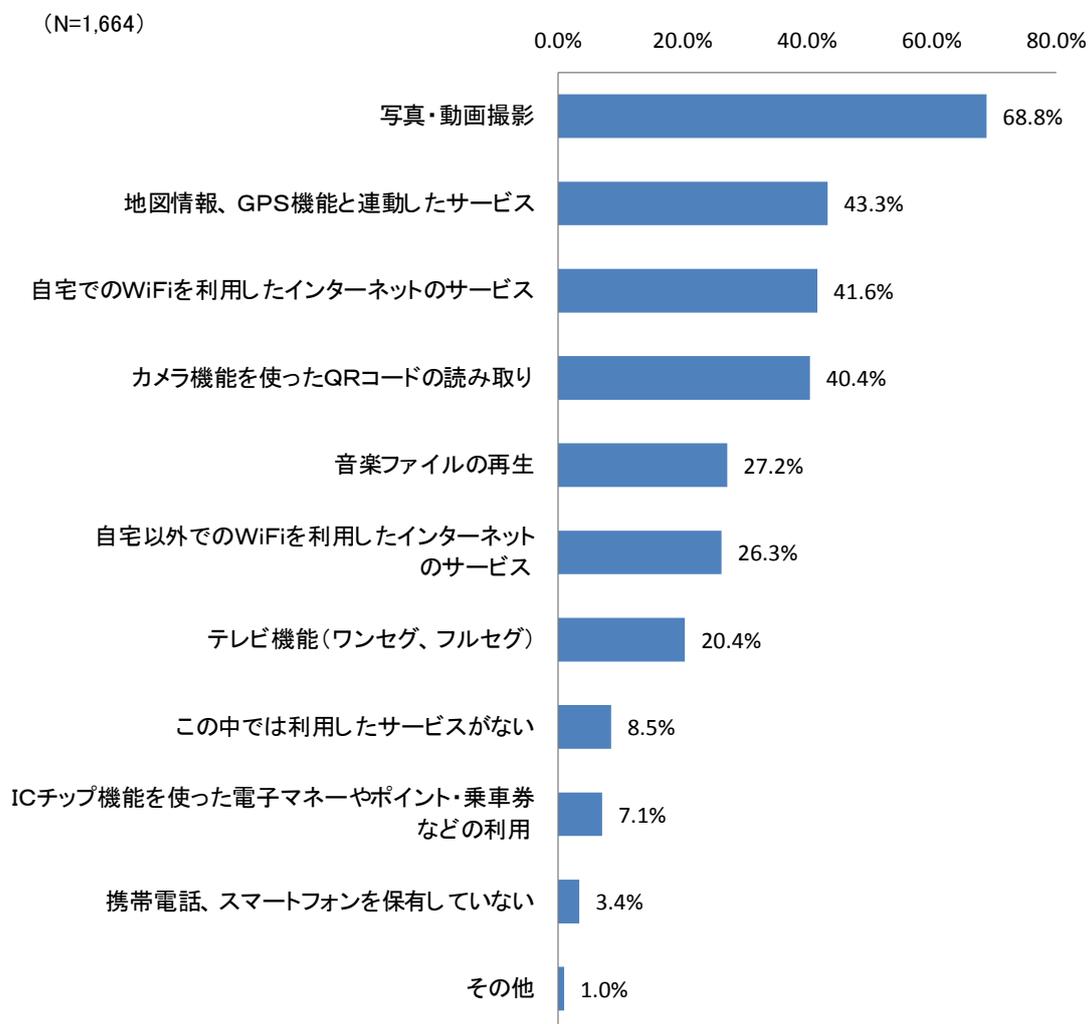
(7) 携帯電話（PHSを含む）又はスマートフォンで利用した機能・サービス

問7. すべての方におたずねします。

あなたは、過去1年間に携帯電話（PHSを含む）又はスマートフォンでどのような機能・サービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。
<複数回答>

利用した機能・サービスについては、「写真・動画撮影」が68.8%と最も多く、次いで「地図情報、GPS機能と連動したサービス」が43.3%、「自宅でのWiFiを利用したインターネットのサービス」が41.6%、「カメラ機能を使ったQRコードの読み取り」が40.4%となっている。（図表3-14参照）

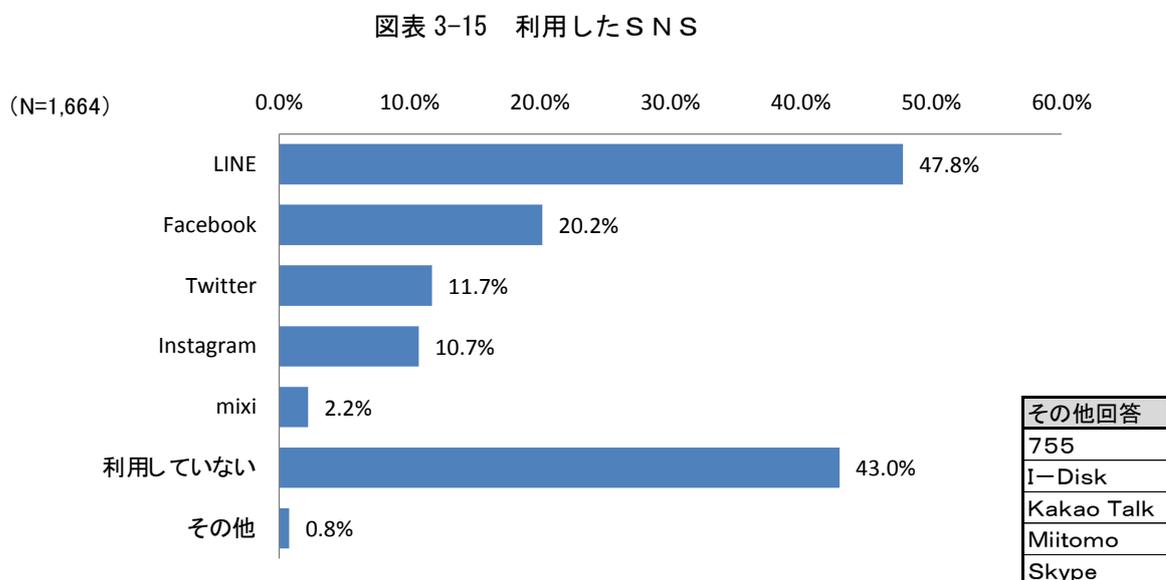
図表3-14 携帯電話（PHSを含む）又はスマートフォンで利用した機能・サービス



(8) 利用したSNS

問8 (1). あなたは、過去1年間にSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

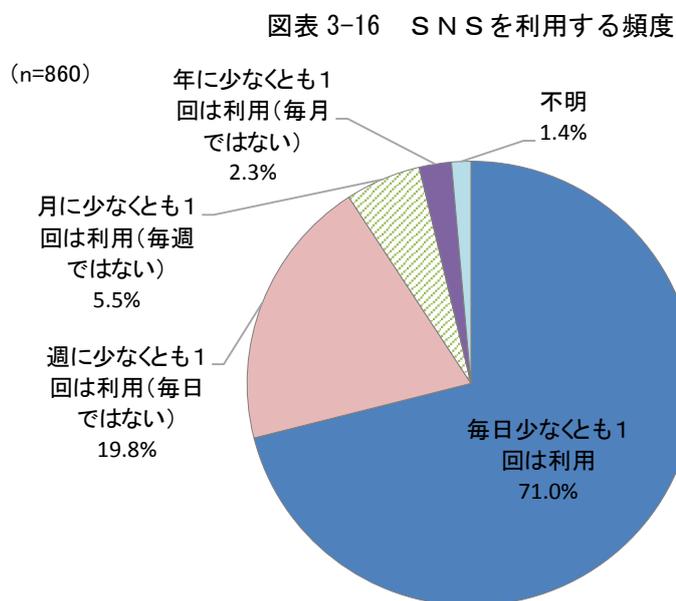
利用したSNSについては、「LINE」が47.8%と最も多く、次いで「Facebook」が20.2%となっている。また、「利用していない」は43.0%となっている。（図表3-15参照）



(9) SNSを利用する頻度

問8 (2). あなたがSNSを利用する頻度はどのくらいですか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単数回答〉

SNSを利用する頻度については、「毎日少なくとも1回は利用」が71.0%と最も多く、次いで「週に少なくとも1回は利用（毎日ではない）」が19.8%、「月に少なくとも1回は利用（毎週ではない）」が5.5%となっている。（図表3-16参照）



4. 鹿児島市が発信する行政情報の提供方法

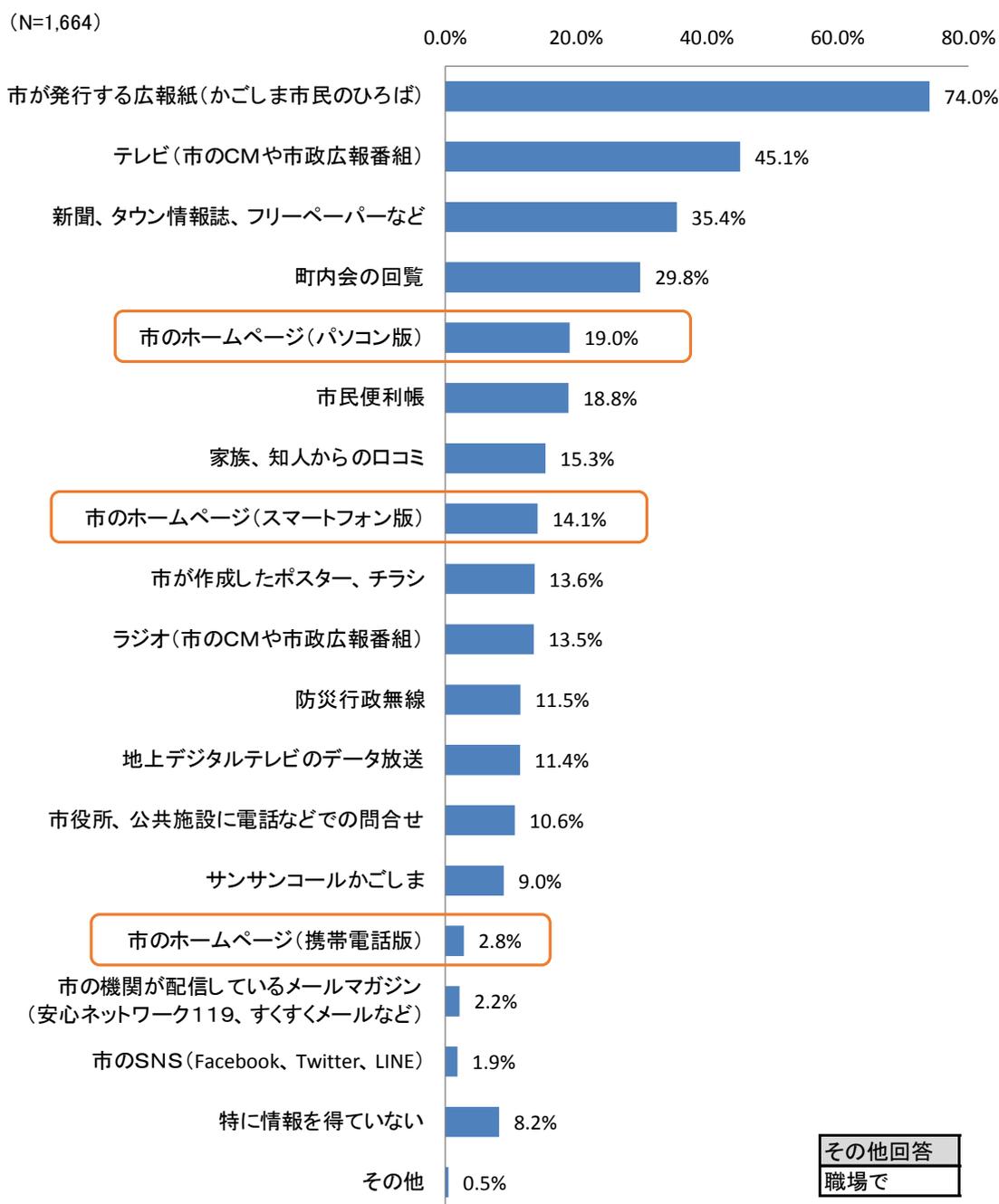
(1) 行政情報の入手方法

問9. あなたは、鹿児島市からの行政情報を、過去1年間にどのような方法で入手しましたか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

鹿児島市が発信する行政情報の入手方法については、「市が発行する広報紙（かごしま市民のひろば）」が74.0%と最も多く、次いで「テレビ（市のCMや市政広報番組）」が45.1%、「新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど」が35.4%となっている。

なお、「市のホームページ」の利用者については、パソコン版、スマートフォン版、携帯電話版をあわせて35.9%となっている。（図表4-1参照）

図表4-1 行政情報の入手手段の状況

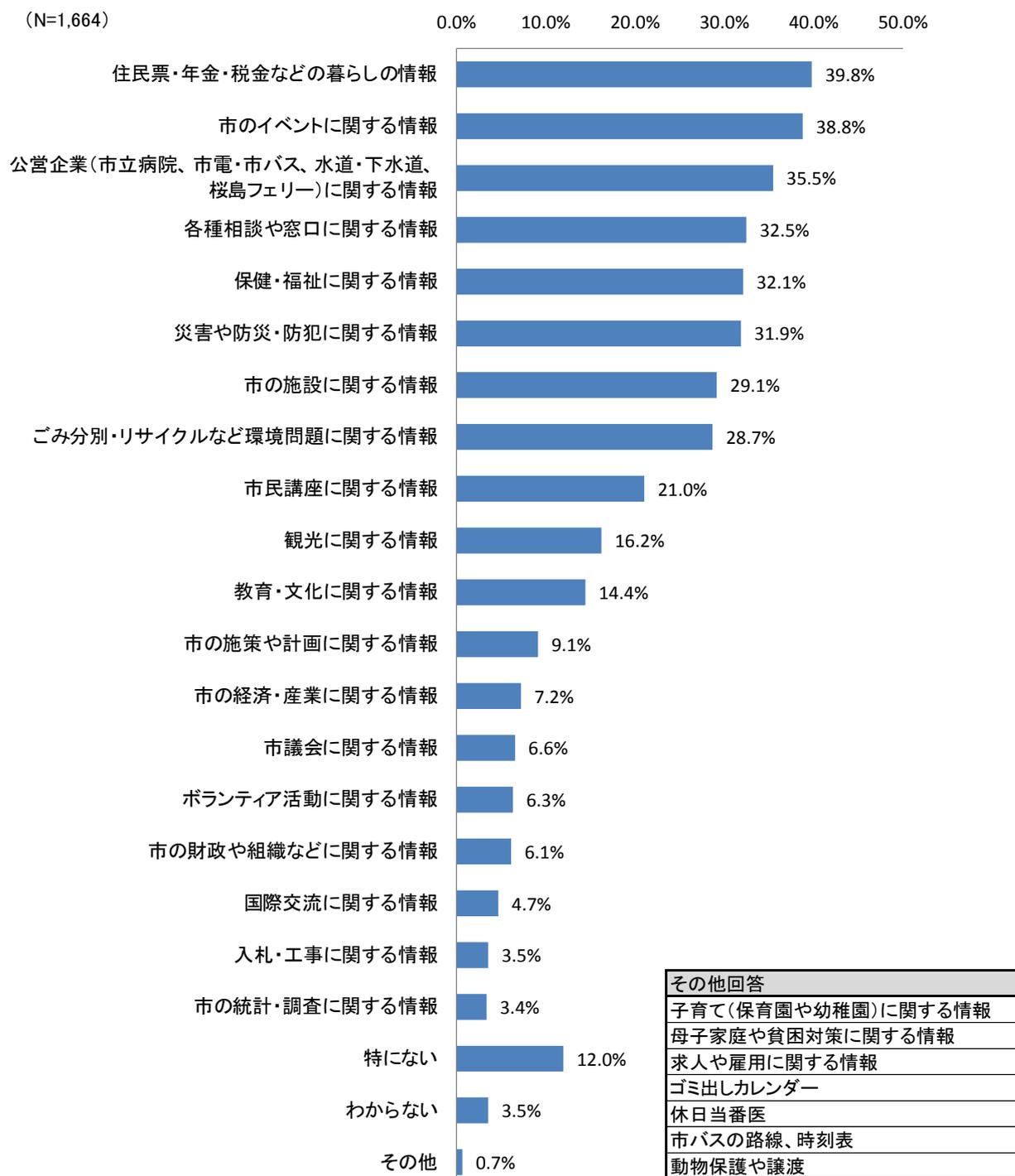


(2) 必要としているまたは関心のある行政情報

問 10. あなたが現在必要としている、または関心のある鹿児島市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

必要としている、または関心のある市の情報については、「住民票・年金・税金などの暮らしの情報」が 39.8%と最も多く、次いで「市のイベントに関する情報」が 38.8%、「公営企業（市立病院、市電・市バス、水道・下水道、桜島フェリー）に関する情報」が 35.5%となっている。（図表 4-2 参照）

図表 4-2 必要としている、または関心のある行政情報



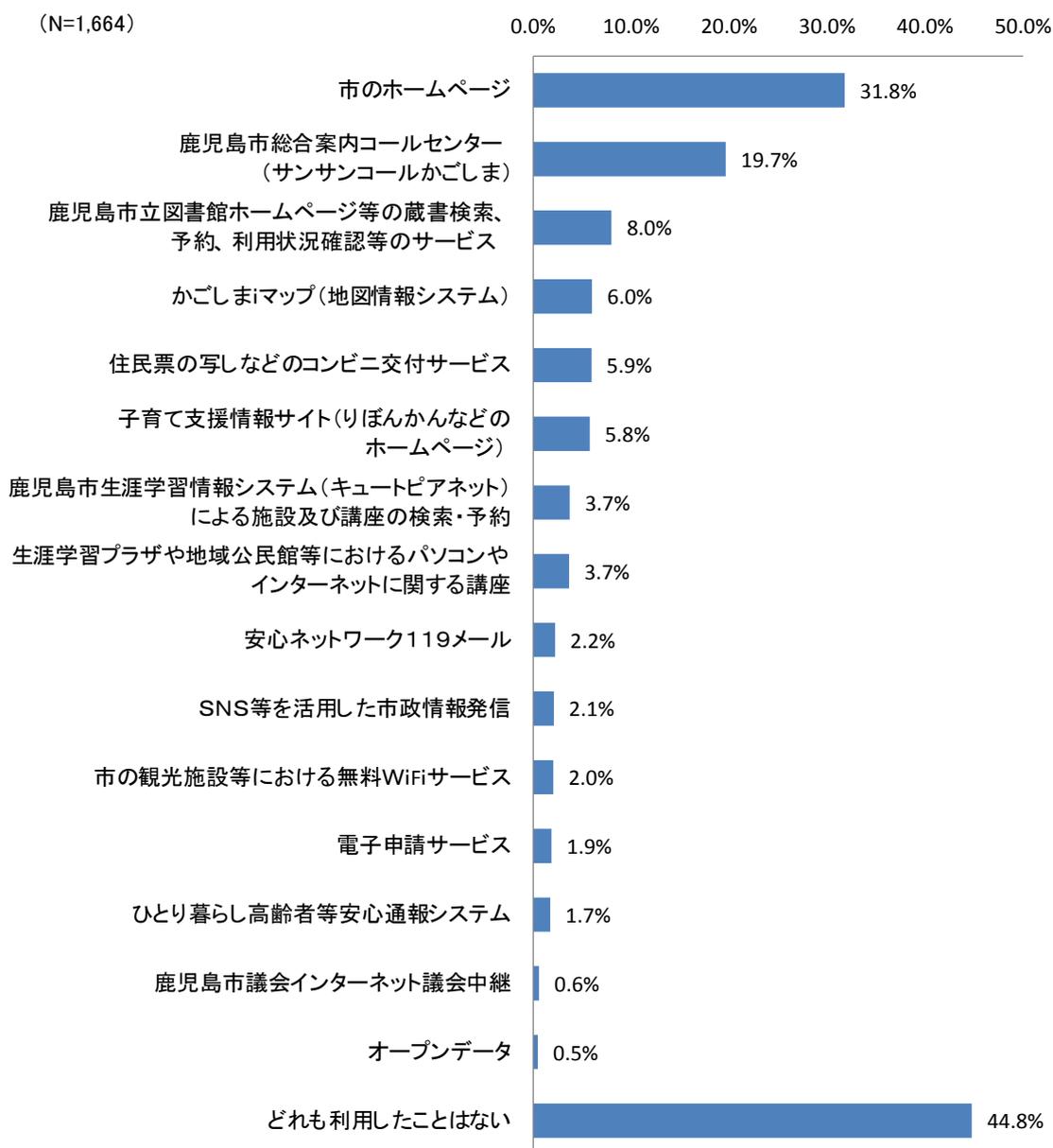
5. 鹿児島市が行う情報化施策への取組

(1) 情報化施策の利用状況

問 11. あなたはこれまでに鹿児島市が提供・実施している情報化施策を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

情報化施策の利用状況については、「市のホームページ」が31.8%と最も多く、次いで「鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）」が19.7%となっている。また、「どれも利用したことはない」は44.8%となっている。（図表5-1 参照）

図表 5-1 情報化施策の利用状況



(2) 情報化施策の効果の状況

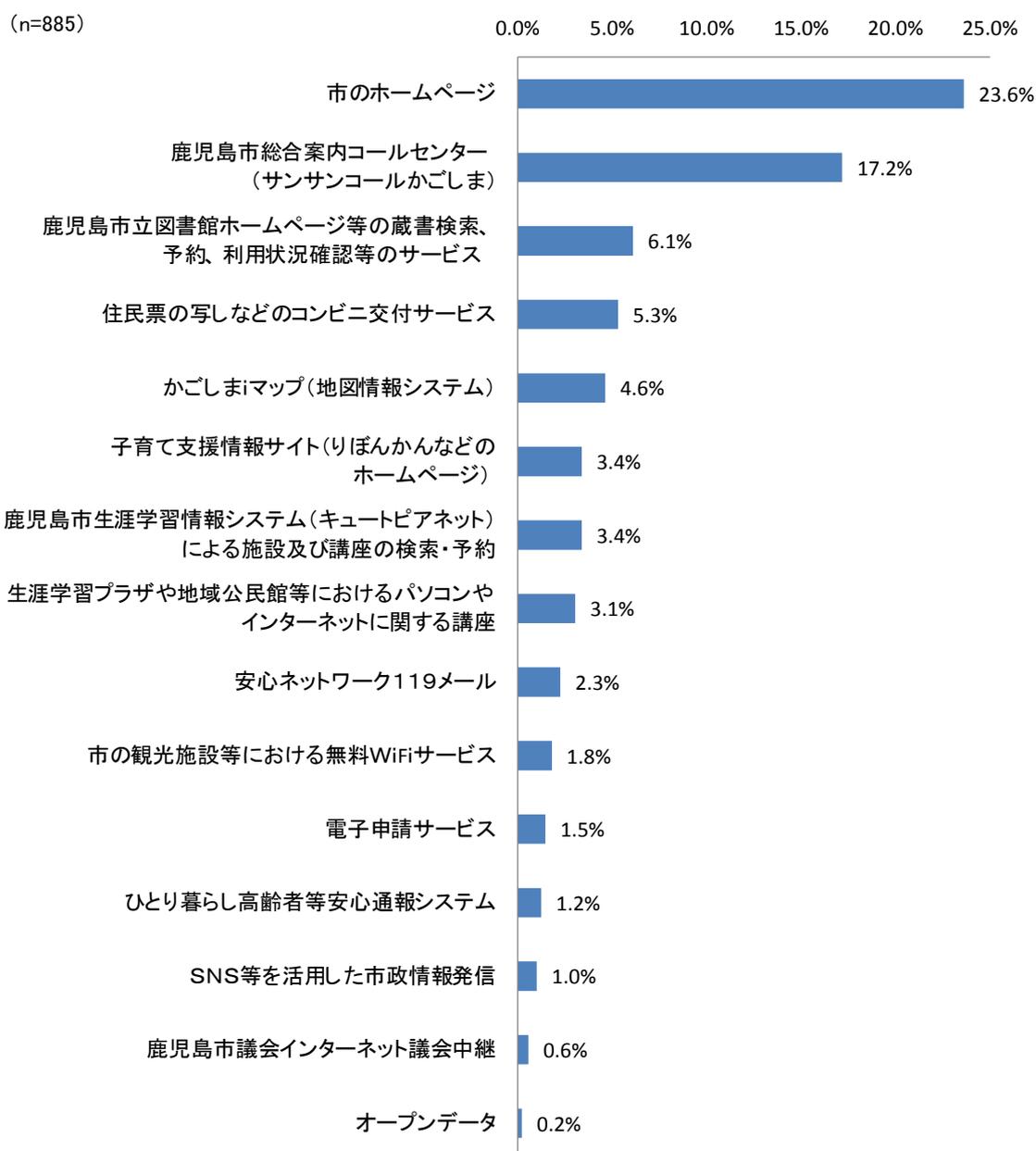
問 12. 問 11 で「16. どれも利用したことはない」以外を選んだ方におたずねします

あなたが利用したことがある、現在、鹿児島市が提供・実施している情報化施策のうち効果が実感できたものがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

情報化施策で効果が実感できたものについては、「市のホームページ」が 23.6%と最も多く、次いで「鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）」が 17.2%となっている。（図表 5-2 参照）

利用状況の高い情報化施策について（P27 図表 5-1 参照）、効果が実感できた情報化施策も高い結果となっている。

図表 5-2 情報化施策の効果の状況

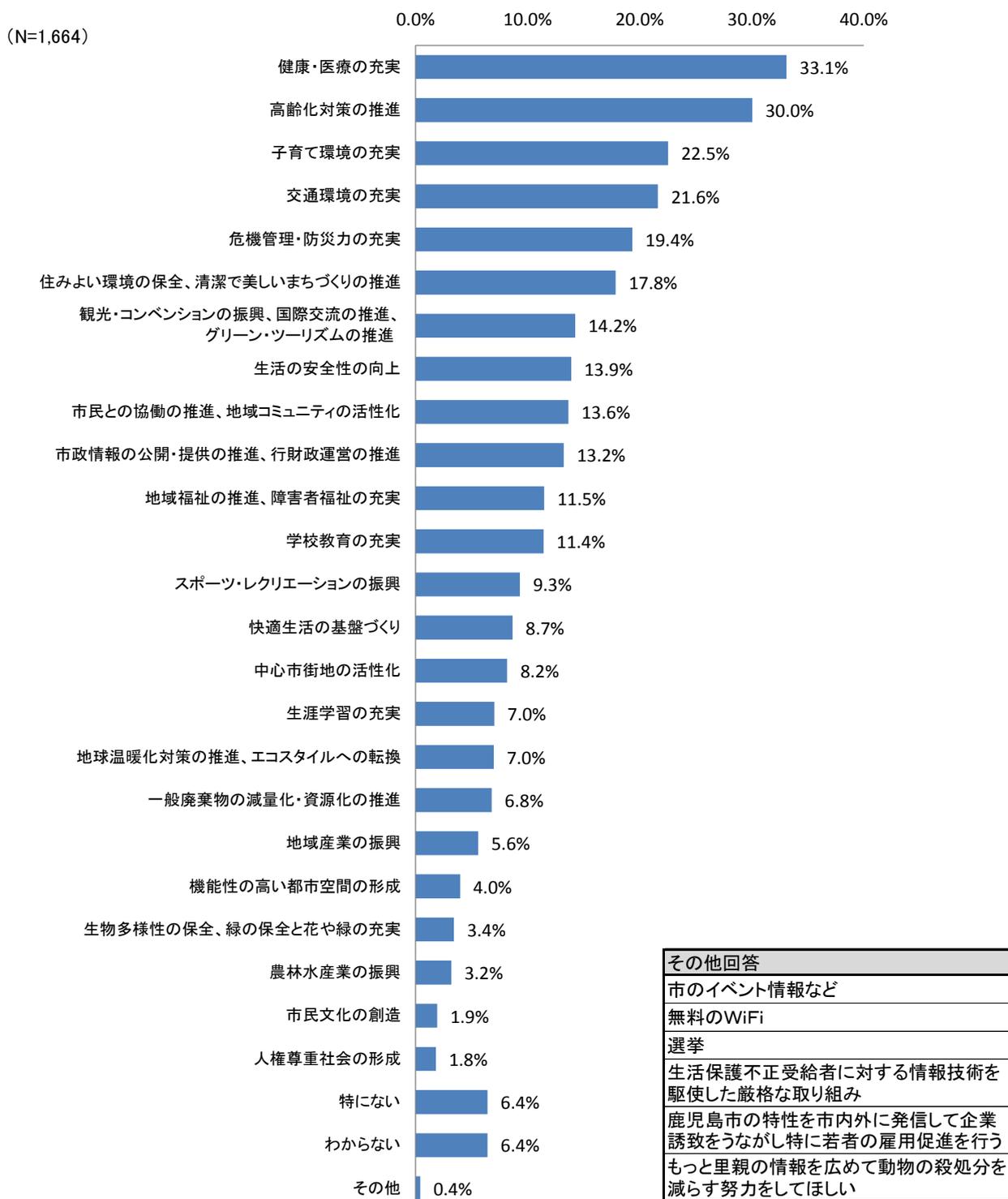


(3) 情報化による市民サービスの利用意向

問 13. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用すべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈3つまで回答〉

情報通信技術を活用すべき施策については、「健康・医療の充実」が33.1%と最も多く、次いで「高齢化対策の推進」が30.0%、「子育て環境の充実」が22.5%、「交通環境の充実」が21.6%となっている。(図表 5-3 参照)

図表 5-3 情報化による市民サービスの利用意向



年齢階層別にみると、10代では「交通環境の充実」、20代・30代では「子育て環境の充実」、40代・50代では「健康・医療の充実」、60代・70代では「高齢化対策の推進」が最も多くなっている。(図表5-4参照)

図表 5-4 年齢階層別の情報化による市民サービスの利用意向

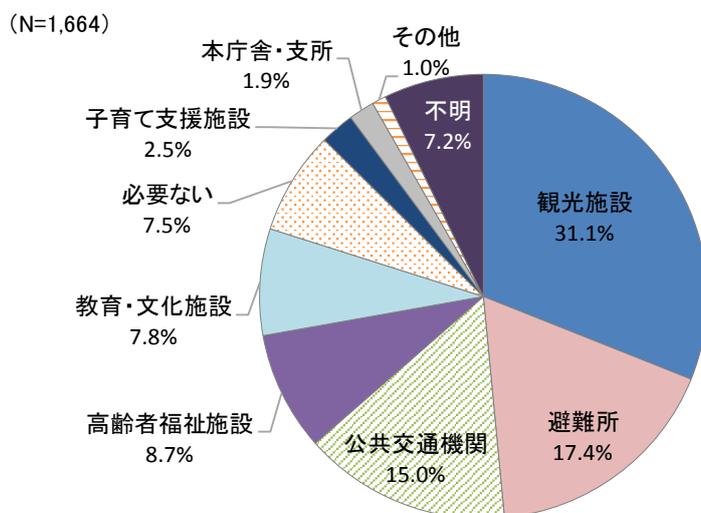
	1位		2位	
10代	交通環境の充実	37.5%	子育て環境の充実	27.1%
20代	子育て環境の充実	40.7%	健康・医療の充実	28.0%
30代		54.4%		30.2%
40代	健康・医療の充実	35.4%	子育て環境の充実	31.4%
50代		40.3%	高齢化対策の推進	31.7%
60代	高齢化対策の推進	36.5%	健康・医療の充実	30.8%
70代		53.5%		34.6%

(4) 公共施設での無料W i F iサービス

問 14. 鹿児島市では現在、観光施設等において無料W i F iサービスを実施しています。あなたは、今後鹿児島市のどの公共施設等で無料W i F iサービスを実施するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単数回答〉

無料W i F iサービスを実施するべき施設については、「観光施設」が31.1%と最も多く、次いで「避難所」が17.4%、「公共交通機関」が15.0%となっている。(図表 5-5 参照)

図表 5-5 無料W i F iサービス施設



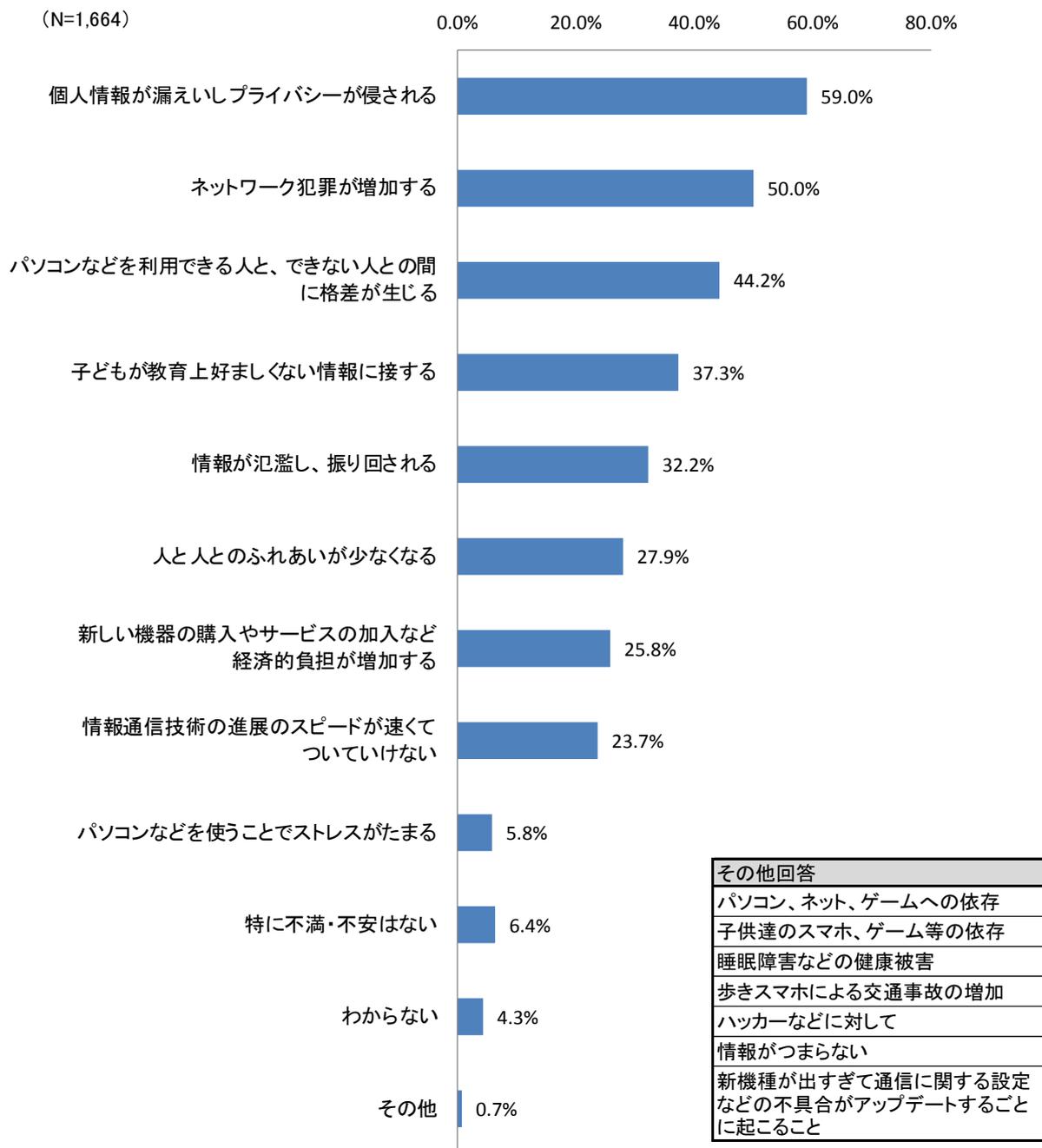
その他回答
すべての施設
地区公民館
使っていない、WiFiがよくわからない

(5) 情報化に対する不満や不安

問 15. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じるがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

情報化に対する不満や不安については、「個人情報情報が漏えいしプライバシーが侵される」が59.0%と最も多く、次いで「ネットワーク犯罪が増加する」が50.0%、「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が44.2%となっている。(図表 5-6 参照)

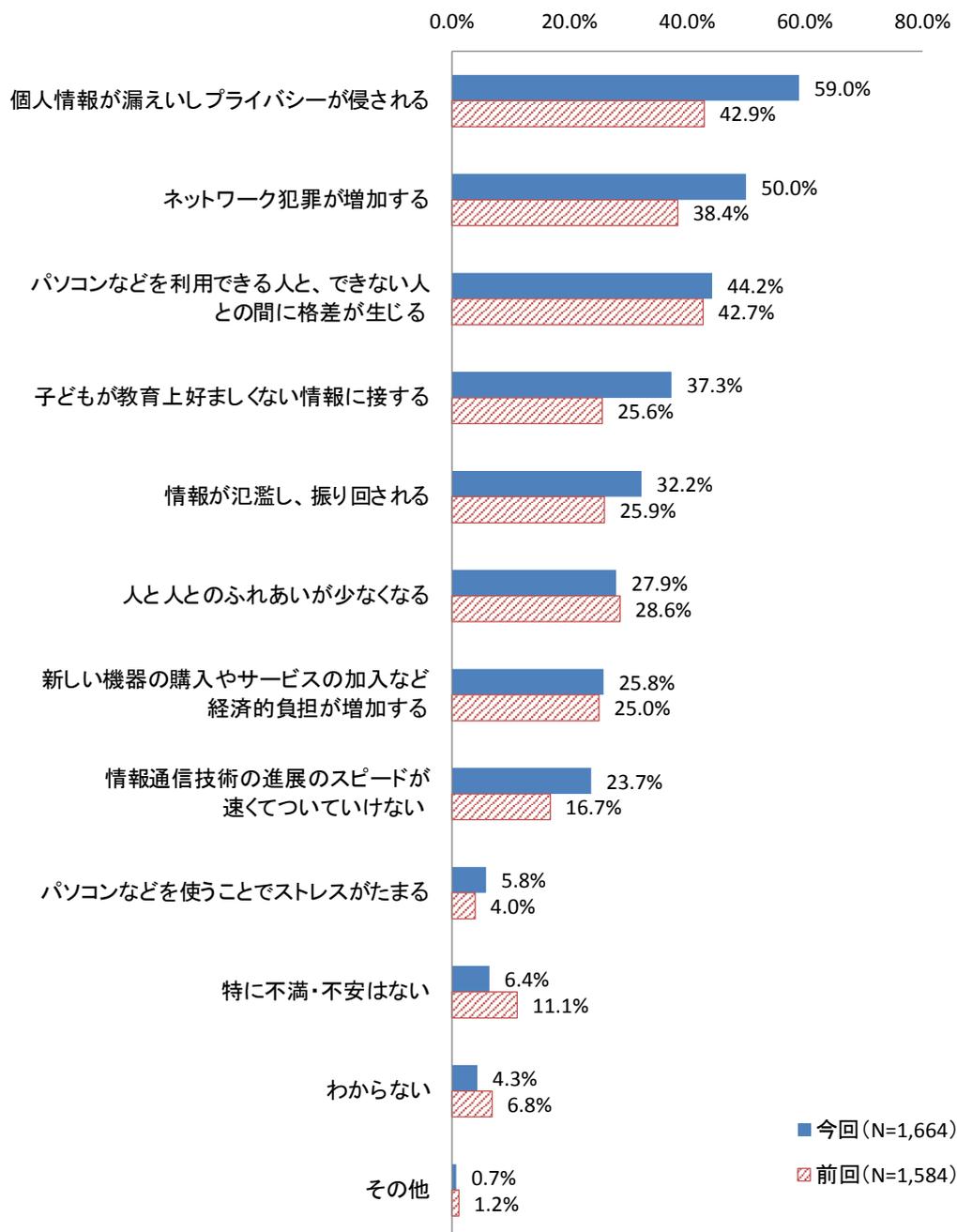
図表 5-6 情報化に対する不満や不安



前回と比較すると、不満や不安を感じることで上位の「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」「ネットワーク犯罪が増加する」や「子どもが教育上好ましくない情報に接する」において10ポイント以上の増加しており、情報セキュリティに対する不安が増加している傾向が見られる。(図表 5-7 参照)

年齢階層別にみると、10代～60代では「個人情報漏えいしプライバシーが侵される」、70代では「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が最も多くなっている。(図表 5-8 参照)

図表 5-7 情報化に対する不満や不安の比較



図表 5-8 年齢階層別の情報化に対する不満や不安

	1 位		2 位	
10 代	個人情報が増えプライバシーが侵される	68.8%	ネットワーク犯罪が増加する	60.4%
20 代		71.2%		55.1%
30 代		70.7%		59.5%
40 代		62.4%		56.2%
50 代		64.7%		53.1%
60 代		55.5%	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる	50.1%
70 代	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる	44.6%	個人情報が増えプライバシーが侵される	38.7%

(6) 情報化施策についての自由意見

問 16. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

※内容精査中

Ⅲ. 資料 調査票

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査

■この調査について

この調査は、新たに取り組む情報化施策に市民の皆さんのご意見を十分に反映させるために実施するものです。

この調査をお願いする方は、16歳以上80歳未満の市民の皆さんから無作為に選ばせていただきました。

アンケート用紙は無記名で、調査結果は統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願いいたします。

■ご記入に当たってのお願い

1. この調査は、封筒のあて名の方がご回答ください。ご本人による記入が難しい時には、周りの方が代わりにご記入下さい。

2. ご回答は、それぞれの質問に関してあらかじめ用意された項目（選択肢）の中から、当てはまる番号に○印をつけてください。また（ ）内にはできるだけ具体的にご記入ください。

3. 本アンケート中に使われている用語については、表紙の裏に用語説明を記載しておりますのでご利用下さい。

4. このアンケート用紙及び返信用封筒には住所・氏名を記入していただく必要はありません。また、切手を貼っていただく必要もありません。

5. ご回答いただいたアンケート用紙は、記入もれがないかご確認のうえ、同封してある返信用封筒に入れ、平成28年8月26日(金)までにご投函くださいますようお願いいたします。

※パソコン、スマートフォンからご回答いただくこともできます。

パソコン用URL <http://bit.ly/29cOtLb> （※「O」は、大文字のオー（アルファベット））

スマートフォン用URL <http://bit.ly/29gWkai>



※このアンケートで知り得た情報の秘密は厳守します。なお、統計的な処理が終わりましたら、アンケート用紙は破棄させていただきます。

■お問合せ先

鹿児島市情報システム課 IT推進係

住 所：〒892-8790 鹿児島市山下町11番1号

電 話：099-216-1115（直通）

F A X：099-216-1117

【用語説明】

用語	説明
CATV回線	ケーブルテレビのケーブルをインターネット接続に用いる場合を指す。
DSL回線（ADSL）	既存の電話回線を利用して高速伝送を可能にする技術で高速インターネット接続が可能になるもの。 データ転送速度は最大数Mbps～数十Mbps程度。 （※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
ISDN回線	NTTが提供する総合デジタル通信サービス。データ転送速度は64Kbps。 （※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
SNS	ソーシャル ネットワーキング サービスの略。参加者が互いに友人を紹介しあつて、新たな友人関係をを広げることを目的に開設されたコミュニティ型サイトのこと。
WiFi（ワイファイ）	無線LANの規格で、国際標準規格IEEE 802.11 規格に準拠していることを示しており、対応している機器同士でネットワークを構成できる。
アプリ	ワープロ・ソフト、表計算ソフト、画像編集ソフトなど、作業の目的に応じて使うソフトウェア。
ウェアラブル端末	身につけて持ち歩くことができる情報端末。メガネ型や腕時計型などの端末がある。
オープンデータ	地方公共団体などが保有する公共データを、市民や企業などに利活用されやすいように機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開すること。 地元ICT企業等がオープンデータを利活用して、市民生活に便利なサービス（スマホ用アプリなど）を開発することなどにより、地域経済の活性化や市民生活の利便性向上などが期待される。
オンデマンド	視聴者のリクエストに応じてサービスを提供する。見たいときに見ることが可能な配信方法。
オンラインゲーム	インターネットを利用し、多人数で同時に同じゲーム進行を共有することができるゲーム。
スマートフォン	個人用の携帯情報端末の機能を併せ持った携帯電話。音声通話以外に、ウェブ閲覧、電子メールの送受信、文書ファイルの作成・閲覧などができる。
タブレット型端末	液晶ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載し、指で操作する板状の携帯情報端末。代表的なものにiPadがある。
チャット	ネットワーク上で参加者同士が文字による会話を同時に行えるようにしたサービス。
電子掲示板	インターネット上に開設された掲示板。様々な利用者によって情報の書込みや閲覧をすることが可能。BBSとも言う。
動画投稿・共有サイト	インターネット上のウェブサイトのうち、動画を投稿し、他のユーザーが閲覧可能な状態にする（共有する）サイトのこと。YouTube、ニコニコ動画などがある。
認証技術	何かによって、対象の正当性を確認するための技術。ID・パスワード、指紋認証、電子署名など。
ネットトレード	インターネットを利用して行う、株取引や為替取引のこと。オンライントレードともいう。
光回線	光ファイバケーブルを利用した超高速インターネット接続サービス。データ転送速度は最大100Mbps～1Gbps程度。
ブログ	ウェブログの略。時系列に並べられた日記風の記事と、それについてのコメントが定期的に更新されるウェブサイトのこと。

☆はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。なお、それぞれの項目は統計処理する際に必要な項目ですので、すべての項目について記入もれがないよう、お願いいたします。

■性別

1. 男

2. 女

■年齢（平成28年4月1日現在）

1. 16歳～19歳

4. 40歳～49歳

7. 70歳～79歳

2. 20歳～29歳

5. 50歳～59歳

3. 30歳～39歳

6. 60歳～69歳

■職業（兼業の場合は収入の多い方に○印をつけてください。）

1. 農林水産業

5. パート、アルバイト

2. 自営業（農林水産業以外）

6. 学生

3. 会社員

7. 無職

4. 公務員

8. その他（ ）

■居住地（2ページの「地域区分と所属町丁目の対照表」を参照してください。）

1. 中央地域

6. 谷山北部地域

11. 吉田地域

2. 上町地域

7. 谷山地域

12. 喜入地域

3. 鴨池地域

8. 伊敷地域

13. 松元地域

4. 城西地域

9. 吉野地域

14. 郡山地域

5. 武・田上地域

10. 桜島地域

※不明な場合は、お住まいの町名をお書きください。（例：山下町）

（ ）

【 地域区分と所属町丁目の対照表 】

番号	地域区分	所属町丁目
1	中央地域	名山町、平之町、東千石町、西千石町、中町、金生町、照国町、泉町、住吉町、堀江町、大黒町、呉服町、新町、船津町、城南町、松原町、南林寺町、甲突町、錦江町、新屋敷町、樋之口町、山之口町、千日町、加治屋町、中央町、上之園町、上荒田町
2	上町地域	坂元町、西坂元町、東坂元1～4丁目、清水町、祇園之洲町、鼓川町、池之上町、稲荷町、春日町、柳町、浜町、上竜尾町、下竜尾町、冷水町、長田町、大竜町、上本町、小川町、本港新町、易居町、山下町、城山町、玉里団地1～3丁目、若葉町、吉野町の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
3	鴨池地域	高麗町、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山町、鴨池新町、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元町、郡元1～3丁目、南郡元町、東郡元町、真砂町、真砂本町、三和町、南新町、日之出町、紫原1～6丁目、西紫原町、宇宿町、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新町、新栄町、向陽2丁目
4	城西地域	城山1～2丁目、新照院町、草牟田町、草牟田1～2丁目、玉里町、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良町、原良1～7丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常盤町、常盤1～2丁目、西田1～3丁目
5	武・田上地域	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～3丁目、田上町、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府町、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野町の一部（西之谷）
6	谷山北部地域	五ヶ別府町、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田町、中山町、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原町、魚見町、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘町、小松原1～2丁目、東開町
7	谷山地域	上福元町、谷山中央1～8丁目、下福元町、慈眼寺町、谷山塩屋町、和田町、和田1～3丁目、平川町、卸本町、南栄1～6丁目、七ツ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1丁目～2丁目、西谷山1～2丁目
8	伊敷地域	伊敷町、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷町、下伊敷1～3丁目、小野町（西ノ谷を除く）、小野1～4丁目、犬迫町、小山田町、皆与志町
9	吉野地域	岡之原町、緑ヶ丘町、川上町、下田町、吉野町（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）、大明丘1～3丁目、吉野1～2丁目
10	桜島地域	桜島赤水町、桜島赤生原町、桜島小池町、桜島西道町、桜島白浜町、桜島武町、桜島藤野町、桜島二俣町、桜島松浦町、桜島横山町、新島町、野尻町、持木町、東桜島町、古里町、有村町、黒神町、高免町
11	吉田地域	西佐多町、東佐多町、本城町、本名町、宮之浦町、牟礼岡1～3丁目
12	喜入地域	喜入瀬々串町、喜入中名町、喜入生見町、喜入前之浜町、喜入町、喜入一倉町
13	松元地域	石谷町、入佐町、上谷口町、直木町、春山町、福山町、松陽台町、四元町、平田町
14	郡山地域	花尾町、有屋田町、川田町、郡山町、郡山岳町、西俣町、東俣町、油須木町

問3. (1) あなたの世帯には、小中学生の子どもがいますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. いる

2. いない

(2) 問3 (1) で「1. いる」を選んだ方におたずねします。あなたの世帯には、小中学生の子ども専用のタブレット型端末等がありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. iPadなどのタブレット型端末
2. 携帯電話（PHSを含む）（3のスマートフォンは除く）
3. iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話
4. インターネットに接続できる家庭用ゲーム機
5. 子ども専用の情報通信機器はない

(3) 問3 (1) で「1. いる」を選んだ方におたずねします。小中学生の子どもが専用のタブレット型端末、携帯電話、スマートフォン、インターネットに接続できる家庭用ゲーム機を保有することに対して、不安を感じますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 不安を感じる 2. 少し不安を感じる 3. あまり不安を感じない 4. 不安を感じない

< 2 > あなたのご自身の情報通信機器の利用状況についておたずねします。

問4. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 利用したことがある → 問5へ 2. 利用したことがない → 問5の(4)へ

*パソコンからの利用のほか、携帯電話、PHS、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

*個人的な利用だけでなく、仕事上での利用等あらゆる場合を含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

*図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用を含みます。

問5. 問4で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコン（自宅以外のものも含むが、2のタブレット型端末は除く）
2. iPadなどのタブレット型端末
3. 携帯電話（PHSを含む）（4のスマートフォンは除く）
4. iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話
5. ケーブルテレビ
6. インターネットに接続する家庭用ゲーム機
7. その他

(2) インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。

利用したことのある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

利用頻度	パソコン	タブレット型端末	携帯電話	スマートフォン	その他
毎日1回以上	1	1	1	1	1
週に1回以上	2	2	2	2	2
月に1回以上	3	3	3	3	3
それ以下	4	4	4	4	4

*「携帯電話」にはPHSで利用した場合も含まれます。

(3) どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. ホームページ・ブログの閲覧、書き込み
2. 自分のホームページ・ブログの開設・更新
3. 電子メールの受発信
4. 電子掲示板・チャットの利用
5. 無料通話アプリやボイスチャットの利用 (Skype、LINEなど)
6. 動画投稿サイトの閲覧・投稿 (Youtube、ニコニコ動画など)
7. ラジオ、テレビ番組、映画などのオンデマンド配信サービスの利用
8. ウェブアルバム (Flickr、フォト蔵など、写真・画像の投稿・共有サービス) の利用
9. SNS (Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram など) の利用
10. 電子ファイルの交換・ダウンロード
11. インターネットオークション
12. 電子政府・電子自治体の利用 (電子申請、電子申告、電子届出、電子納付)
13. 商品・サービスの購入・取引 (14と15は除く)
14. デジタルコンテンツ (音楽、映像、ゲームソフト、電子書籍等) の購入・取引
15. 金融取引 (ネットバンキング・ネットトレード等)
16. クイズ・懸賞応募、アンケート回答
17. オンラインゲームの利用
18. 地図情報提供サービス (乗換、ルート検索等も含む)
19. 天気予報の利用 (台風情報含む、20は除く)
20. 防災情報 (地震、津波、緊急情報など)
21. ニュースサイトの利用
22. 辞書・辞典サイトの利用
23. その他 ()

(4) 問4で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。

今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 今後利用したいと思う
2. 今後も利用したいと思わない
3. わからない

問6. すべての方におたずねします。現在、インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 特に不満は感じていない
2. 個人情報の保護に不安がある
3. ウィルスの感染が心配である
4. 電子的決済手段の信頼性に不安がある
5. 違法・有害情報が氾濫している
6. SNS等におけるコミュニケーション相手とのトラブル
7. 架空請求やインターネットを利用した詐欺
8. 迷惑メールが来ること
9. 通信料金が高い
10. パソコンなどの機器が高価すぎる
11. パソコンなどの操作が難しい
12. 接続速度が遅い
13. 認証技術の信頼性に不安がある
14. 情報検索に手間がかかる
15. 必要な情報がない
16. 利用する必要がない
17. わからない
18. その他 ()

問7. すべての方におたずねします。あなたは、過去1年間に携帯電話（PHSを含む）又はスマートフォンでどのような機能・サービスを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 自宅でのW i F i を利用したインターネットのサービス
2. 自宅以外でのW i F i を利用したインターネットのサービス
3. カメラ機能を使ったQRコードの読み取り
4. I Cチップ機能を使った電子マネーやポイント・乗車券などの利用
5. 写真・動画撮影
6. テレビ機能（ワンセグ、フルセグ）
7. 音楽ファイルの再生
8. 地図情報、G P S機能と連動したサービス
9. この中では利用したサービスがない。
10. 携帯電話、スマートフォンを保有していない。
11. その他 ()

問8. (1) あなたは、過去1年間にSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用しましたか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. Facebook | 5. Instagram |
| 2. Twitter | 6. 利用していない |
| 3. LINE | 7. その他 () |
| 4. mixi | |

(2) あなたがSNSを利用する頻度はどのくらいですか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 毎日少なくとも1回は利用 |
| 2. 週に少なくとも1回は利用（毎日ではない） |
| 3. 月に少なくとも1回は利用（毎週ではない） |
| 4. 年に少なくとも1回は利用（毎月ではない） |

< 3 > 鹿児島市からの行政情報の入手方法等についておたずねします。

問9. あなたは、鹿児島市からの行政情報を、過去1年間にどのような方法で入手しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 市が発行する広報紙（かごしま市民のひろば） |
| 2. 市のホームページ（パソコン版） |
| 3. 市のホームページ（携帯電話版） |
| 4. 市のホームページ（スマートフォン版） |
| 5. 市の機関が配信しているメールマガジン（安心ネットワーク119、すくすくメールなど） |
| 6. 市のSNS（Facebook、Twitter、LINE） |
| 7. 防災行政無線 |
| 8. 地上デジタルテレビのデータ放送 |
| 9. テレビ（市のCMや市政広報番組） |
| 10. ラジオ（市のCMや市政広報番組） |
| 11. 市民便利帳 |
| 12. 市役所、公共施設に電話などでの問合せ |
| 13. サンサンコールかごしま |
| 14. 市が作成したポスター、チラシ |
| 15. 町内会の回覧 |
| 16. 新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど |
| 17. 家族、知人からの口コミ |
| 18. 特に情報を得ていない |
| 19. その他 () |

問10. あなたが現在必要としている、または関心のある鹿児島市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 各種相談や窓口に関する情報
2. 市のイベントに関する情報
3. 市民講座に関する情報
4. 市の施設に関する情報
5. ボランティア活動に関する情報
6. 住民票・年金・税金などの暮らしの情報
7. 保健・福祉に関する情報
8. ごみ分別・リサイクルなど環境問題に関する情報
9. 災害や防災・防犯に関する情報
10. 入札・工事に関する情報
11. 観光に関する情報
12. 国際交流に関する情報
13. 教育・文化に関する情報
14. 市の経済・産業に関する情報
15. 市の統計・調査に関する情報
16. 市の施策や計画に関する情報
17. 市の財政や組織などに関する情報
18. 市議会に関する情報
19. 公営企業（市立病院、市電・市バス、水道・下水道、桜島フェリー）に関する情報
20. 特にない
21. わからない
22. その他（）

< 4 > 鹿児島市が行う情報化への取組についておたずねします。

問11. あなたは、これまでに鹿児島市が提供・実施している情報化施策を利用したことがありますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）
2. 市のホームページ
3. SNS等を活用した市政情報発信
4. 住民票の写しなどのコンビニ交付サービス
5. 電子申請サービス
6. かがしま i マップ（地図情報システム）
7. 子育て支援情報サイト（りぼんかんなどのホームページ）
8. 生涯学習プラザや地域公民館等におけるパソコンやインターネットに関する講座
9. ひとり暮らし高齢者等安心通報システム
10. 安心ネットワーク 119 メール
11. 鹿児島市生涯学習情報システム（キュートピアネット）による施設及び講座の検索・予約
12. 鹿児島市立図書館ホームページ等の蔵書検索、予約、利用状況確認等のサービス
13. 鹿児島市議会インターネット議会中継
14. 市の観光施設等における無料W i F i サービス
15. オープンデータ
16. どれも利用したことはない

問12. 問11で「16.どれも利用したことはない」以外を選んだ方におたずねします。あなたが利用したことがある、現在、鹿児島市が提供・実施している情報化施策のうち効果が実感できたものがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）
2. 市のホームページ
3. SNS等を活用した市政情報発信
4. 住民票の写しなどのコンビニ交付サービス
5. 電子申請サービス
6. かがしま i マップ（地図情報システム）
7. 子育て支援情報サイト（りぼんかんなどのホームページ）
8. 生涯学習プラザや地域公民館等におけるパソコンやインターネットに関する講座
9. ひとり暮らし高齢者等安心通報システム
10. 安心ネットワーク 119 メール
11. 鹿児島市生涯学習情報システム（キュートピアネット）による施設及び講座の検索・予約
12. 鹿児島市立図書館ホームページ等の蔵書検索、予約、利用状況確認等のサービス
13. 鹿児島市議会インターネット議会中継
14. 市の観光施設等における無料W i F i サービス
15. オープンデータ

問13. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

1. 市民との協働の推進、地域コミュニティの活性化
2. 市政情報の公開・提供の推進、行財政運営の推進
3. 地球温暖化対策の推進、エコスタイルへの転換
4. 一般廃棄物の減量化・資源化の推進
5. 生物多様性の保全、緑の保全と花や緑の充実
6. 住みよい環境の保全、清潔で美しいまちづくりの推進
7. 観光・コンベンションの振興、国際交流の推進、グリーン・ツーリズムの推進
8. 中心市街地の活性化
9. 地域産業の振興
10. 農林水産業の振興
11. 子育て環境の充実
12. 高齢化対策の推進
13. 地域福祉の推進、障害者福祉の充実
14. 健康・医療の充実
15. 生活の安全性の向上
16. 危機管理・防災力の充実
17. 学校教育の充実
18. 生涯学習の充実
19. 市民文化の創造
20. スポーツ・レクリエーションの振興
21. 人権尊重社会の形成
22. 機能性の高い都市空間の形成
23. 快適生活の基盤づくり
24. 交通環境の充実
25. 特にない
26. わからない
27. その他 ()

問14. 鹿児島市では現在、観光施設等において無料W i F i サービスを実施しています。あなたは、今後鹿児島市のどの公共施設等で無料W i F i サービスを実施するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 観光施設
2. 教育・文化施設
3. 公共交通機関
4. 避難所
5. 高齢者福祉施設
6. 子育て支援施設
7. 本庁舎・支所
8. その他 ()
9. 必要ない

問15. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じることがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
2. 個人情報漏えいしプライバシーが侵される
3. ネットワーク犯罪が増加する
4. 子どもが教育上好ましくない情報に接する
5. 人と人とのふれあいが少なくなる
6. 情報が氾濫し、振り回される
7. パソコンなどを使うことでストレスがたまる
8. 情報通信技術の進展のスピードが速くてついていけない
9. 新しい機器の購入やサービスの加入など経済的負担が増加する
10. 特に不満・不安はない
11. わからない
12. その他 ()

問16. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ ※ ※ ※

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、8月26日(金)までにご投函ください。